

7. 水源地域動態

7.1 評価の進め方

7.1.1 評価方針

水源地域動態の評価は大きく2つの流れの評価を行う。一つは、地域との関わりという点で、ダム建設から管理以降、現在までのダム事業を整理するとともに、地域情勢の変遷を整理し、地域においてダムがどのような役割を果たしてきたか、今後の位置づけはどのように考えていくべきか等についての評価を行う。

もう一つの流れとして、ダム周辺整備事業とダム及びダム周辺の利用状況から評価を行うものである。ダム周辺に整備された施設等が十分に利用されているものとなっているか、又は逆に利用状況から見た施設は十分なものとなっているか等の評価を行う。

最後にこれらをまとめ、ダム及びダム周辺の社会的な評価の総括を行い、課題等について検討する。

7.1.2 評価手順

評価方針のとおり大きく2つの流れにより評価を行いとりまとめることとする。

水源地域動態の検討手順は図7.1.2-1に示すとおりである。

(1) 水源地域の概況整理

水源地域の地勢や人口等の概要、交通条件や観光施設等のダムの立地特性等の視点から水源地域の概況を把握する。

(2) ダム事業と地域社会の変遷

ダム建設が直接地域社会に与えたインパクト、周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等についてダム事業の経緯とともに変遷を年表形式で整理し、ダム事業と地域社会の係わりを把握する。周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等は、ダムの影響とまでは言えないまでも関連がありそうな事項を抽出する。これらのまとめにより、ダムを含めた水源地域としての地域特性を把握する。

(3) ダムと地域の関わりに関する評価

ダムと地域との関わりとして、(2)をもとに、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」等も参考にしながら、地域におけるダムの位置づけについて考察を行う。さらにダム管理者と地域の関わりとして、至近5ヶ年程度のダム管理者と地域の交流事項等について整理し、管理者の活動等について評価する。

(4) ダム周辺の状況

ダムの周辺環境整備計画を整理するとともに、現況の整備状況等について整理を行い、加えて、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」により新たに整備された施設等についても整理する。

なお、原則は、「水源地域対策特別措置法」で整備した施設等は評価対象としないが、ダム事業と一体となって整備した施設等は含めることとする。

また、施設入り込み数、イベント開催状況等から周辺の利用状況を整理し、利用に関する評価を行う。

(5) 河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果

河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果より、ダム周辺施設の年間利用者数、利用形態等についても整理する。また、アンケート調査結果から、利用者がどのような感想をもっているかについても整理し、利用者の視点からのダム周辺施設（環境整備）の評価を行う。

(6) その他関連事項の整理

水源地域の社会動態に関する既往検討資料、又は景観検討資料、施設の維持管理に関する検討資料等、関連する資料があれば整理する。

(7) まとめ

以上より、地域とダムの関わり、ダムの利用状況に関する評価結果をまとめ、ダムの特徴、課題等について整理する。また、負の評価結果となった事項があれば、これらについて要因を整理し、極力改善策等の提案についてとりまとめるものとする。

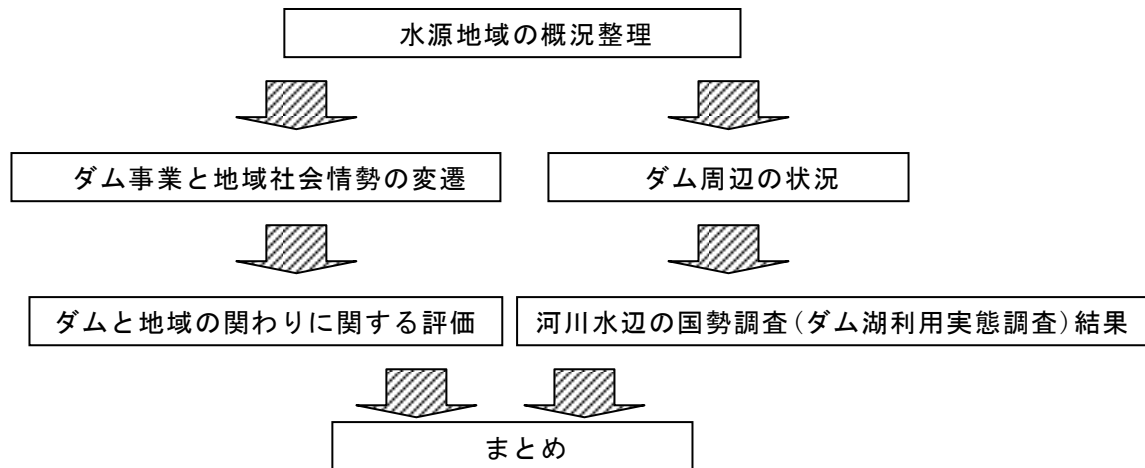


図 7.1.2-1 水源地域動態の検討手順

7.2 水源地域の概況

7.2.1 水源地域の概要

(1) 自然

高山ダム流域は、高見山脈の連峰（標高 1,249m）に発する比奈知、青蓮寺及び宇陀の三川からなり、流域面積は 615km²である。

ダムサイトの河床標高は約 80m、谷幅は約 50mである。ダムサイト兩岸の山腹斜面は、ほぼ等しく約 40度の傾斜をなしている。ダム右岸には、標高 180m 付近から緩い起伏をもつ平坦な面が東方に広がっている。この平地には、基盤の花崗岩を覆って第四紀洪積層（固結の進んだいわゆる山砂利層）が分布している。一方、ダム左岸は標高 200m 前後から緩斜面にはなるが、右岸ほど著しい平坦面の形成は見られない。

地質的には中央構造線の北方、つまり西南日本内帯に属し、いわゆる領家地帯に属する。また、高山ダム流域の気候は内陸性で、年間降水量は名張地点で平均 1,400mm 程度である。

(2) 市町村合併等による水源地域市町村の動態

高山ダムの水源地域は、平成 16 年までは南山城村（京都府）、上野市（三重県）、名張市（三重県）等、12 市町村からなっていたが、市町村合併により 5 市 4 村（平成 26 年 3 月 31 日現在）となっている。

表 7.2.1-1 に市町村合併等の状況を整理した。

表 7.2.1-1 市町村合併等の状況

府県名	旧市町村名	新市町村名	備考
京都府	南山城村	南山城村	H26.3.31 現在変更なし
三重県	上野市	伊賀市	H16.11.1 上野市を含む 6 市町村が合併新設
	名張市	名張市	H26.3.31 現在変更なし
	美杉村	津市	H18.1.1 美杉村を含む 10 市町村が合併新設
奈良県	月ヶ瀬村	奈良市	H17.4.1 月ヶ瀬村、都祁村、奈良市が合併
	山添村	山添村	H26.3.31 現在変更なし
	大字陀町	宇陀市	H18.1.1 左記 4 町村が合併新設
	菟田野町		
	榛原町		
	室生村		
	曾爾村	曾爾村	H26.3.31 現在変更なし
	御杖村	御杖村	H26.3.31 現在変更なし

(3) 水源地域の人口動態

高山ダム水源地域の旧12市村のこれまでの人口動態は表7.2.1-2、図7.2.1-1のとおりである。

高山ダム流域は3府県（京都府1村、奈良県3町5村、三重県2市1村）にまたがっており、流域内人口は、平成12年まで増加傾向にあったが、平成12年以降は減少傾向となっている。

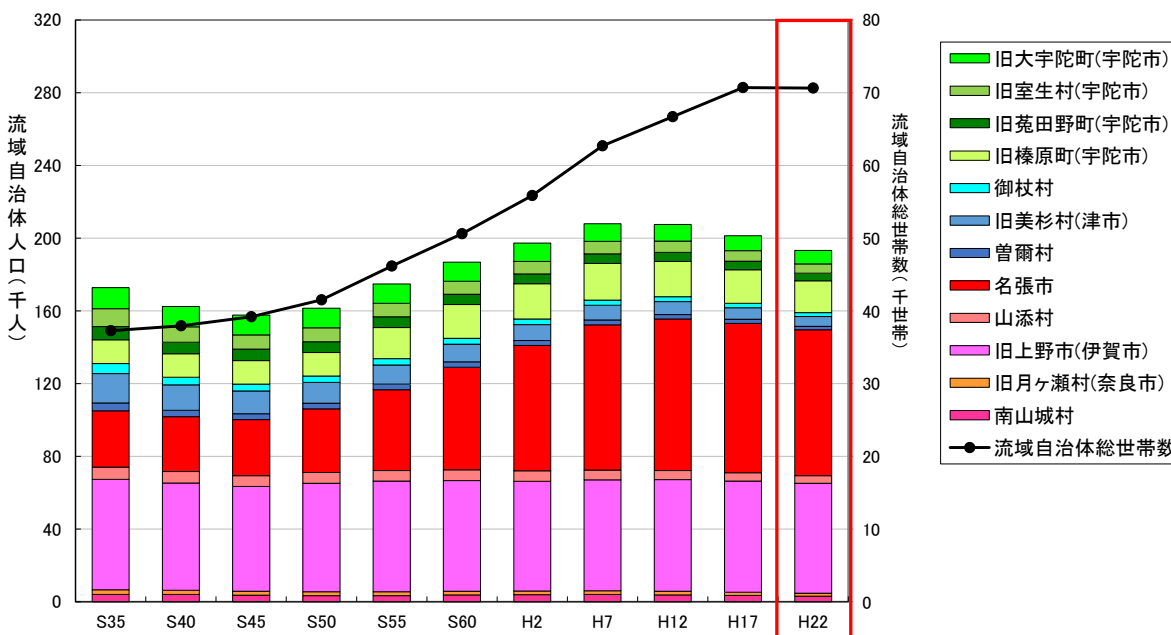
平成12年までの人口増加は、昭和50年代頃から大阪都市圏のベッドタウンとして急速に成長した名張市の影響によるものである。その他の市町村の人口は、減少又は横ばい傾向にある。

表 7.2.1-2 高山ダム水源地域市町村の人口推移

高山ダム水源地域人口(人)		S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
京都府	南山城村	4,050	3,978	3,570	3,388	3,396	3,701	3,890	4,024	3,784	3,466	3,078
三重県	旧上野市(伊賀市)	60,725	58,915	57,666	59,716	60,835	60,812	60,242	60,986	61,493	61,121	60,541
	名張市	30,904	30,084	30,862	34,929	44,488	56,474	68,933	79,913	83,291	82,156	80,284
奈良県	旧美杉村(津市)	16,043	14,103	12,470	11,408	10,495	9,630	8,835	8,015	7,158	6,392	5,381
	旧月ヶ瀬村(奈良市)	2,483	2,355	2,142	2,132	2,110	2,136	2,084	2,015	1,962	1,809	1,607
	山添村	6,807	6,416	5,978	5,885	5,822	5,933	5,773	5,420	4,967	4,595	4,107
	旧大宇陀町(宇陀市)	11,584	11,221	10,930	10,829	10,638	10,541	10,032	9,712	9,104	8,225	7,361
	旧菟田野町(宇陀市)	7,330	6,392	6,344	6,032	5,849	5,683	5,477	5,284	4,914	4,623	4,250
	旧榛原町(宇陀市)	13,093	12,873	12,950	12,846	17,210	18,512	19,358	20,230	19,438	18,549	17,491
	旧室生村(宇陀市)	9,721	8,426	7,739	7,562	7,404	7,138	6,869	6,809	6,306	5,786	5,125
	曾爾村	4,433	3,512	3,189	3,144	3,083	2,975	2,743	2,645	2,472	2,193	1,895
	御杖村	5,533	4,159	3,852	3,593	3,430	3,287	3,035	2,840	2,623	2,366	2,102
計		172,706	162,434	157,692	161,464	174,760	186,822	197,271	207,893	207,512	201,281	193,222

※1：上記人口は、流域人口でなく流域に含まれる市町村の各自治体の総人口である。

(出典：国勢調査)



※1：上記人口は、流域人口でなく流域に含まれる市町村の各自治体の総人口である。

(出典：国勢調査)

図 7.2.1-1 高山ダム水源地域市町村の人口推移

高山ダム流域旧12市村の面積及び流域面積を表7.2.1-3に、面積比率を図7.2.1-2に示す。

表 7.2.1-3 高山ダム流域町村の面積及び流域面積

市町村等名		行政区面積 (km ²)	流域内面積 (km ²)	面積比	高山ダム流域面積(615km ²)に対する 市町村面積の割合
京都府	南山城村	64.21	18.17	0.283	2.95%
三重県	旧上野市(伊賀市)	195.26	23.87	0.122	3.88%
	名張市	129.76	125.42	0.967	20.39%
	旧美杉村(津市)	206.7	20.4	0.099	3.32%
奈良県	旧月ヶ瀬村(奈良市)	21.35	18.63	0.873	3.03%
	山添村	66.47	53.36	0.803	8.68%
	旧大宇陀町(宇陀市)	47.44	37.67	0.794	6.13%
	旧菟田野町(宇陀市)	27.78	27.77	1.000	4.52%
	旧榛原町(宇陀市)	64.41	61.57	0.956	10.01%
	旧室生村(宇陀市)	107.99	104.69	0.969	17.02%
	曾爾村	47.84	47.84	1.000	7.78%
	御杖村	79.63	75.61	0.950	12.29%
合計		1058.84	615.00	—	100%

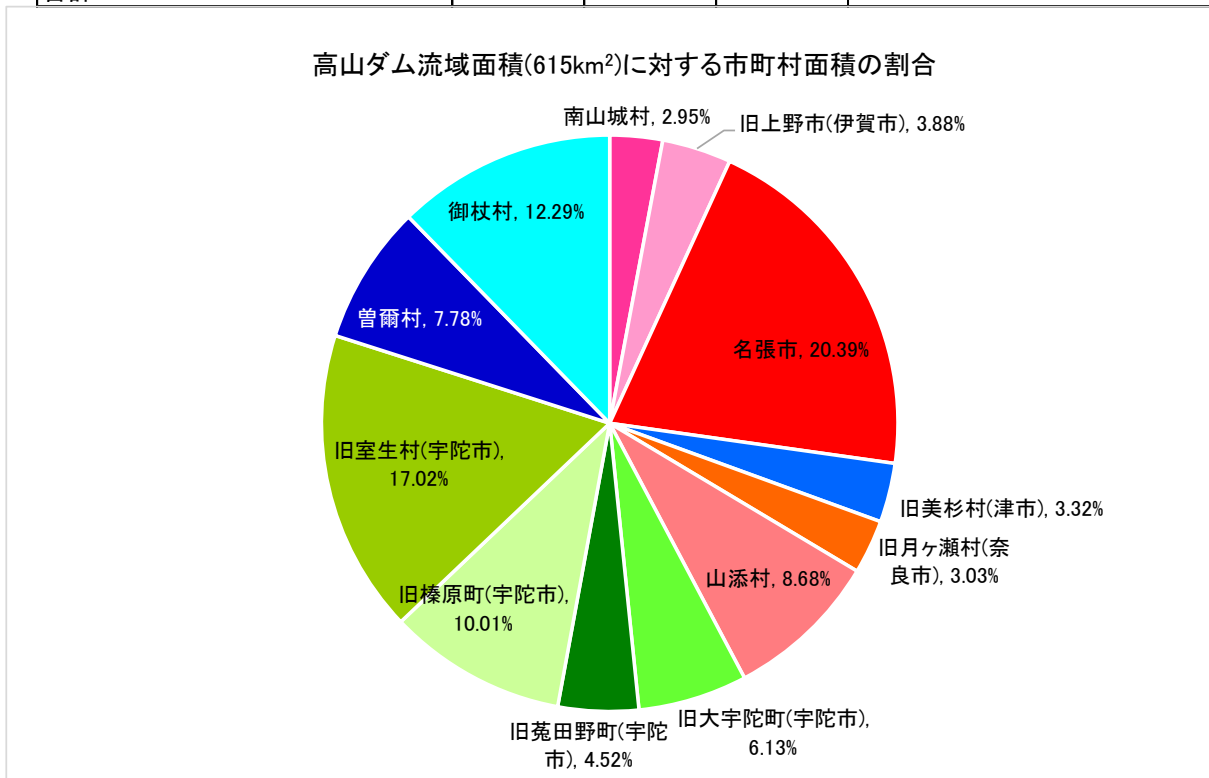


図 7.2.1-2 高山ダム流域内市町村の面積割合

高山ダムの流域面積比により算出した旧 12 市村の流域内人口動態は表 7.2.1-4、図 7.2.1-3 のとおりである。

流域内人口は平成 7 年、12 年には 13 万人を超えていたが、以降減少傾向となり、平成 22 年時点で 12 万 6 千人余りとなっている。

ダムが位置する京都府の南山城村はダム流域内は約 28%であり、流域外の割合が高い。同様に三重県の旧上野市や旧美杉村も流域外の割合が高いが、その他の自治体は大部分が高山ダム流域内となり、特に名張市は流域内が約 97%となっており、流域内人口の 6 割以上を占めている。また、室生ダムの流域を含む宇陀市（旧大宇陀町、旧菟田野町、旧榛原町、旧室生村）もほとんどが高山ダム流域内であり、名張市と宇陀市で流域内人口の約 9 割を占めている。

表 7.2.1-4 高山ダム流域内人口の推移

高山ダム流域内人口(人)		S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
京都府	南山城村	1,146	1,126	1,010	959	961	1,047	1,101	1,139	1,071	981	871
三重県	旧上野市(伊賀市)	7,423	7,202	7,050	7,300	7,437	7,434	7,364	7,455	7,517	7,472	7,401
	名張市	29,870	29,078	29,830	33,761	43,000	54,585	66,627	77,240	80,505	79,408	77,599
	旧美杉村(津市)	1,583	1,392	1,231	1,126	1,036	950	872	791	706	631	531
奈良県	旧月ヶ瀬村(奈良市)	2,167	2,055	1,869	1,860	1,841	1,864	1,818	1,758	1,712	1,579	1,402
	山添村	5,464	5,151	4,799	4,724	4,674	4,763	4,634	4,351	3,987	3,689	3,297
	旧大宇陀町(宇陀市)	9,198	8,910	8,679	8,599	8,447	8,370	7,966	7,712	7,229	6,531	5,845
	旧菟田野町(宇陀市)	7,327	6,390	6,342	6,030	5,847	5,681	5,475	5,282	4,912	4,621	4,248
	旧榛原町(宇陀市)	12,516	12,305	12,379	12,280	16,451	17,696	18,504	19,338	18,581	17,731	16,720
	旧室生村(宇陀市)	9,424	8,169	7,503	7,331	7,178	6,920	6,659	6,601	6,113	5,609	4,968
	曾爾村	4,433	3,512	3,189	3,144	3,083	2,975	2,743	2,645	2,472	2,193	1,895
	御杖村	5,254	3,949	3,658	3,412	3,257	3,121	2,882	2,697	2,491	2,247	1,996
計		95,806	89,238	87,537	90,525	103,211	115,406	126,647	137,009	137,297	132,691	126,774

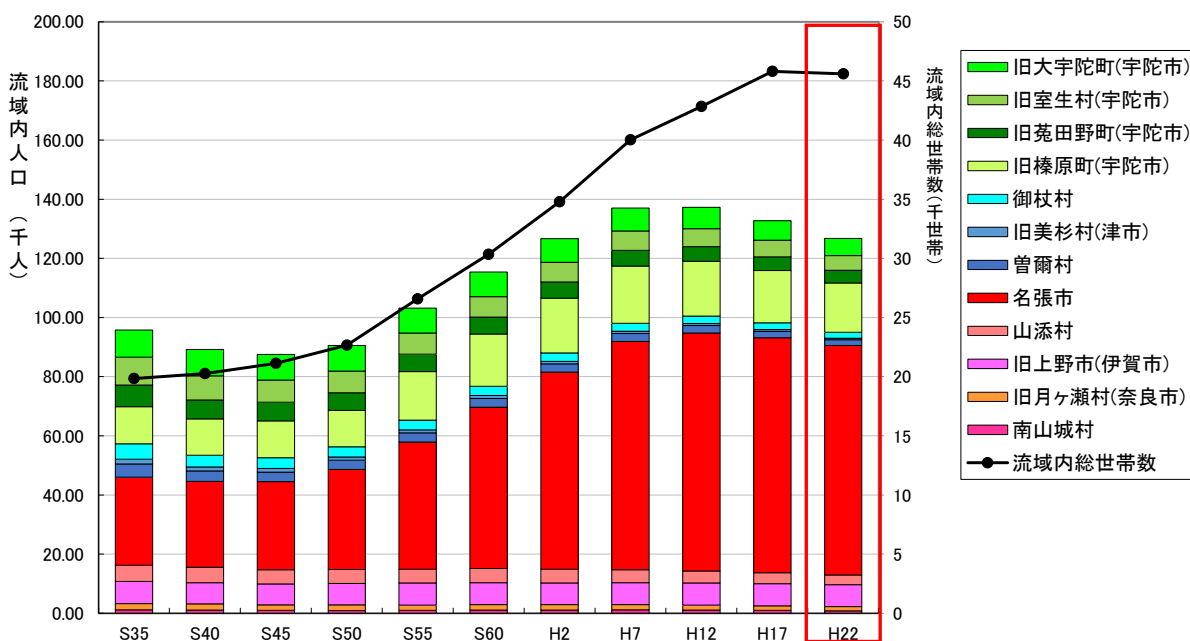


図 7.2.1-3 高山ダム流域内人口の推移

(4) 産業別就業者数

流域市町村の産業別就業者数の推移を表7.2.1-5及び表7.2.1-4に示す。

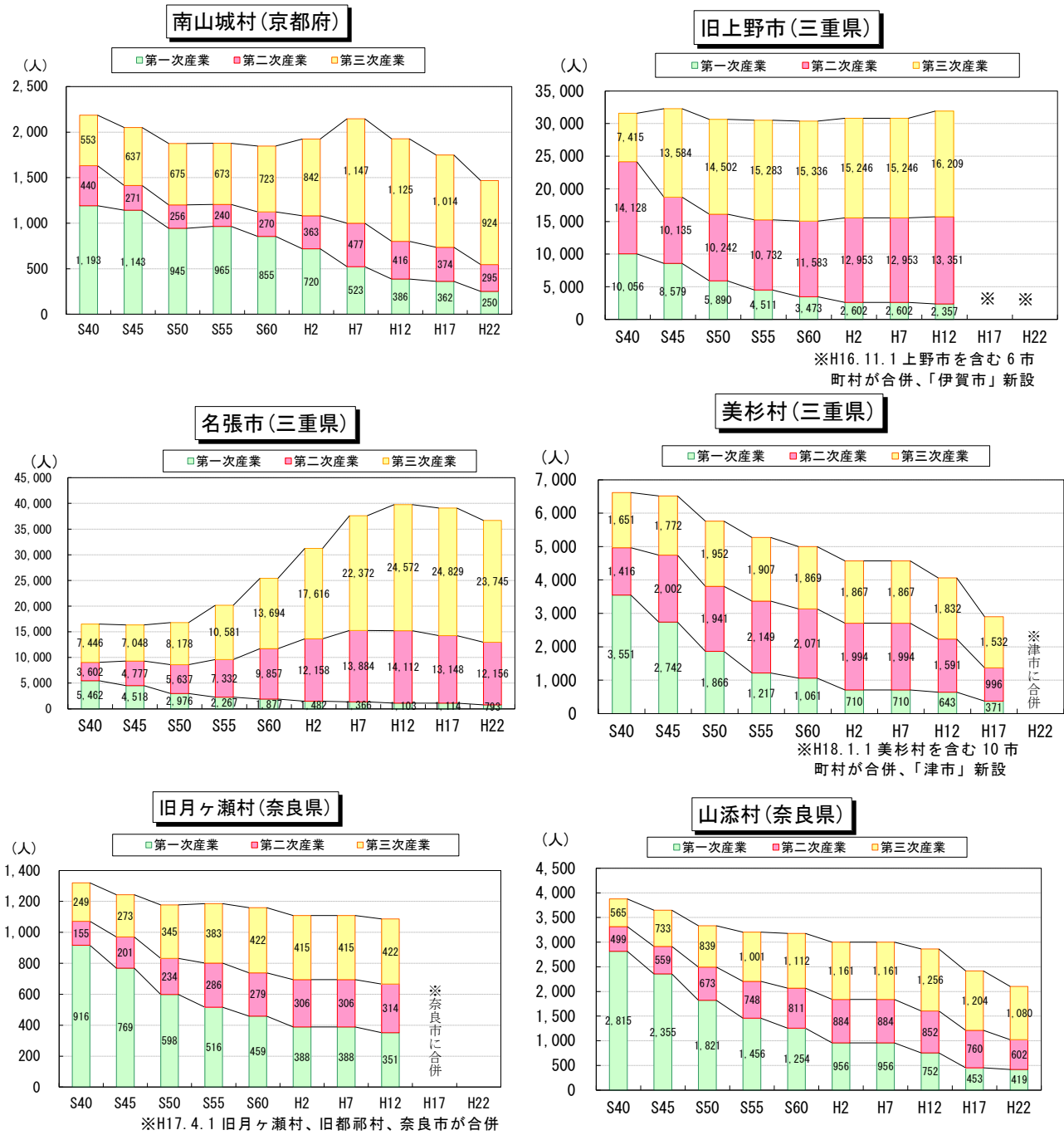
市町村合併により平成17年以降のデータが未整備である市町村が多いが、人口の減少に合わせて、おおむね全産業で就業者数の減少傾向となっている。特に第一次産業の減少は顕著である。

なお、産業別就業者数は5年に1回の実施となっている。

表7.2.1-5 流域市町村の産業別就業者数の推移

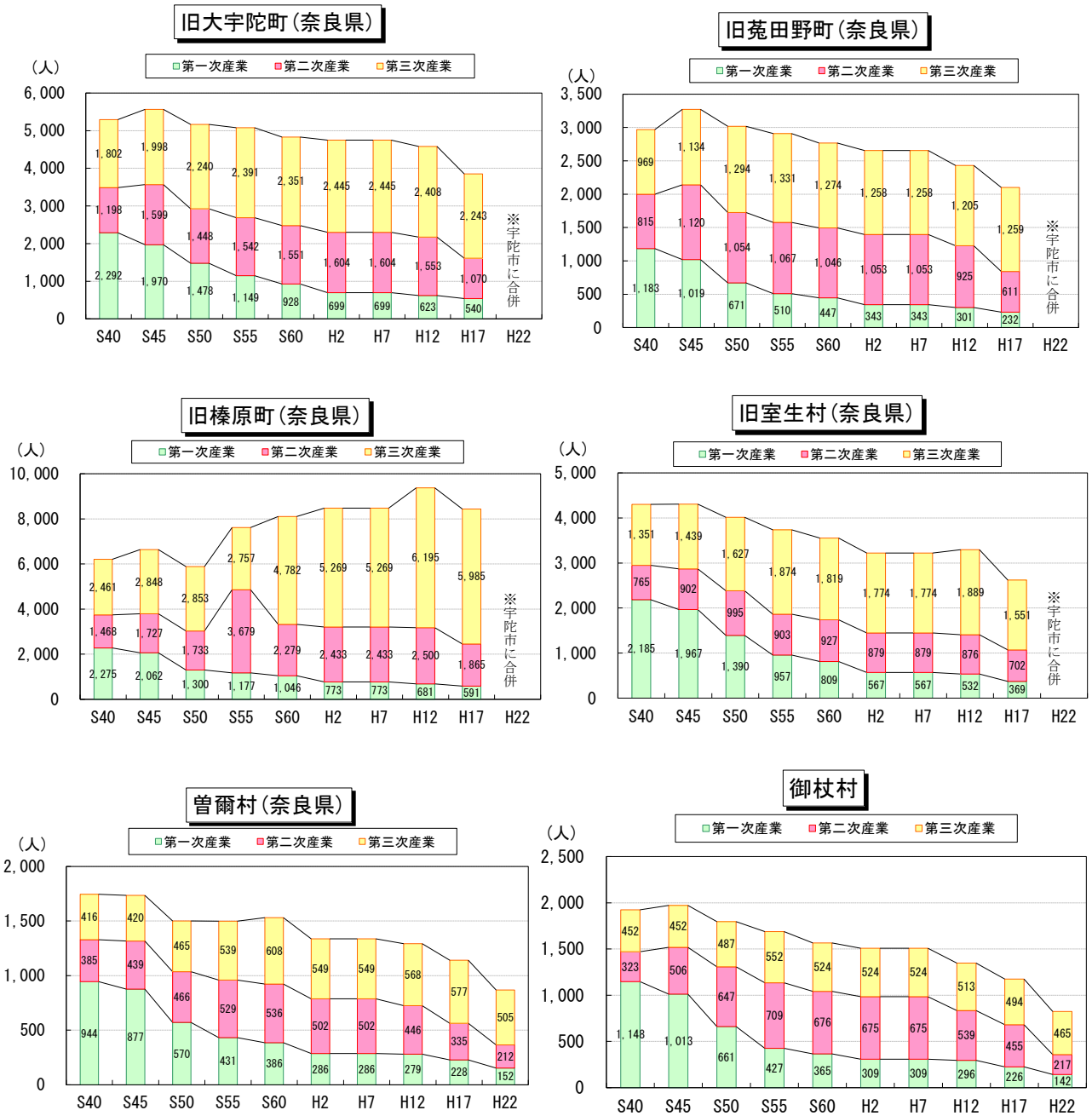
府県名	市町村名	(人)	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
京都府	南山城村	第1次産業	1,193	1,143	945	965	855	720	523	386	362	250
		第2次産業	440	271	256	240	270	363	477	416	374	295
		第3次産業	553	637	675	673	723	842	1,147	1,125	1,014	924
三重県	旧上野市 (伊賀市)	第1次産業	10,056	8,579	5,890	4,511	3,473	2,602	2,357	1,671	-	-
		第2次産業	8,753	10,135	10,242	10,732	11,583	12,953	13,351	13,111	-	-
		第3次産業	16,458	13,584	14,476	15,261	15,336	15,246	16,209	16,237	-	-
	名張市	第1次産業	5,462	4,518	2,976	2,267	1,877	1,482	1,366	1,103	1,114	793
		第2次産業	3,602	4,777	5,637	7,332	9,857	12,158	13,884	14,112	13,148	12,156
		第3次産業	7,446	7,048	8,178	10,581	13,694	17,616	22,372	24,572	24,829	23,745
	旧美杉村 (津市)	第1次産業	3,551	2,742	1,866	1,217	1,061	710	643	406	371	-
		第2次産業	1,416	2,002	1,941	2,149	2,071	1,994	1,591	1,315	996	-
		第3次産業	1,220	1,772	1,916	1,896	1,869	1,867	1,832	1,690	1,532	-
奈良県	旧月ヶ瀬村 (奈良市)	第1次産業	916	769	595	516	459	389	351	323	302	-
		第2次産業	155	201	180	286	279	303	314	262	214	-
		第3次産業	249	273	340	383	422	417	422	447	435	-
	山添村	第1次産業	2,815	2,355	1,885	1,456	1,254	959	752	453	498	419
		第2次産業	499	559	685	748	811	878	852	760	664	602
		第3次産業	565	731	780	996	1,112	1,155	1,256	1,204	1,237	1,080
	宇陀市	第1次産業	(7,935)	(7,018)	(4,875)	(3,793)	(3,140)	(2,404)	(2,137)	(1,776)	(1,732)	1,086
		第2次産業	(4,246)	(5,343)	(5,130)	(5,685)	(5,703)	(5,903)	(5,854)	(5,271)	(4,248)	3,376
		第3次産業	(6,575)	(7,409)	(7,930)	(9,821)	(10,226)	(10,620)	(11,697)	(11,231)	(11,038)	9,923
	旧大宇陀町 (宇陀市)	第1次産業	2,292	1,970	1,570	1,149	928	682	623	526	540	-
		第2次産業	1,198	1,599	1,505	1,542	1,551	1,603	1,553	1,395	1,070	-
		第3次産業	1,798	1,998	2,040	2,377	2,351	2,388	2,408	2,272	2,243	-
	旧菟田野町 (宇陀市)	第1次産業	1,183	1,019	720	510	447	390	301	233	232	-
		第2次産業	815	1,115	1,065	1,067	1,046	1,011	925	815	611	-
		第3次産業	969	1,134	1,240	1,330	1,274	1,224	1,205	1,205	1,259	-
	旧榛原町 (宇陀市)	第1次産業	2,275	2,062	1,200	1,177	956	764	681	671	591	-
		第2次産業	1,468	1,727	1,685	2,173	2,279	2,423	2,500	2,247	1,865	-
		第3次産業	2,458	2,843	2,840	4,256	4,782	5,258	6,195	6,056	5,985	-
	旧室生村 (宇陀市)	第1次産業	2,185	1,967	1,385	957	809	568	532	346	369	-
		第2次産業	765	902	875	903	827	866	876	814	702	-
		第3次産業	1,350	1,434	1,810	1,858	1,819	1,750	1,889	1,698	1,551	-
曾爾村	第1次産業	944	877	535	431	386	265	279	228	185	152	
	第2次産業	385	439	425	529	536	481	446	335	275	212	
	第3次産業	415	420	505	539	608	555	568	577	573	505	
御杖村	第1次産業	1,148	1,013	700	427	365	302	296	226	234	142	
	第2次産業	323	506	650	709	676	674	539	455	308	217	
	第3次産業	451	451	430	550	524	514	513	494	498	465	

※「-」は、合併などにより旧自治体区分での就業者数が公表されていないことを示す。



出典：国勢調査

図 7.2.1-4(1) 高山ダム流域市町村の産業就業者人口の推移(1)



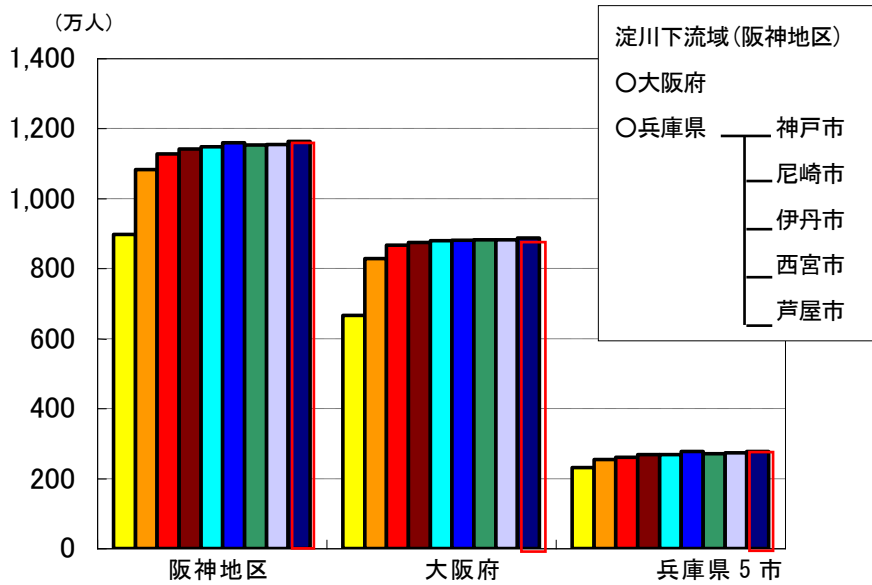
出典：国勢調査

図 7.2.1-4(2) 高山ダム流域市町村の産業就業者人口の推移(2)

(5) 淀川下流域の人口の推移

淀川下流域の人口は、図 7.2.1-5 に示すとおり、昭和 40 年から昭和 50 年までの 10 年間で約 185 万人の増加があり、平成 2 年以降はほぼ横ばいの状態となっている。

淀川下流域(阪神地区)の平成 22 年時点の人口は、1,164 万人となっており、昭和 40 年と比較して、129.6%の増減率となっている。



(単位:万人)

	阪神地区	大阪府	兵庫県5市
■ S40	898	666	232
■ S50	1,083	828	255
■ S60	1,128	867	261
■ H2	1,142	874	268
■ H7	1,148	880	268
■ H12	1,159	881	278
■ H14	1,153	882	271
■ H17	1,155	882	273
■ H22	1,164	887	277
増減率	129.6%	133.2%	119.4%

図 7.2.1-5 淀川下流域の人口の推移

出典：国勢調査

(6) 土地利用

高山ダム流域市町村の土地利用面積の推移を表7.2.1-6に、高山ダム流域内の土地利用状況を図7.2.1-6に示す。

高山ダム流域内の土地利用割合は、森林78.0%、田8.1%、建物用地5.5%、その他の農用地3.9%、河川及び湖沼1.4%などとなっている。

また、高山ダム建設以降、流域内での大規模な開発について、目立ったものは行われていない。

表7.2.1-6 高山ダム流域市町村の土地利用面積の推移

府県名	市町村名	項目/年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
京都府	南山城村	田	2.48	2.46	2.36	2.31	1.86	2.20	2.15	2.09	2.06	2.39
		畑	1.44	1.44	1.38	1.44	1.35	1.64	1.62	1.59	1.54	1.87
		宅地	0.27	0.28	0.32	0.46	0.39	0.51	0.52	0.50	0.51	0.61
		山林	13.80	13.81	13.85	13.68	10.16	12.58	12.39	12.47	12.49	14.77
		その他	0.18	0.18	0.26	0.28	4.41	1.24	1.48	1.51	1.58	1.94
三重県	旧上野市 (伊賀市)	田	7.96	8.61	8.27	7.82	7.41	7.21	6.98	6.90	6.90	-
		畑	4.49	2.15	1.92	2.04	2.51	2.40	2.33	2.07	2.07	-
		宅地	2.01	1.09	1.28	2.00	2.10	2.34	2.76	3.45	3.45	-
		山林	3.01	11.13	11.45	10.90	10.67	10.55	10.44	9.89	9.89	-
		その他	6.40	0.90	0.95	1.11	1.17	1.36	1.37	1.57	1.57	-
	名張市	田	32.57	32.33	29.97	27.69	25.72	25.52	24.09	23.33	23.05	-
		畑	11.32	11.14	10.29	9.86	9.47	9.57	8.72	8.44	8.29	-
		宅地	3.94	4.78	10.08	14.79	17.70	20.25	21.21	22.26	22.38	-
		山林	73.18	72.23	70.06	67.18	66.28	64.01	65.53	63.92	64.06	-
		その他	4.42	4.94	5.02	5.89	6.25	6.07	5.87	7.47	7.64	-
	旧美杉村 (津市)	田	1.47	1.47	1.25	1.19	1.20	1.15	1.14	1.10	1.10	-
		畑	1.03	1.27	1.10	1.07	1.09	1.06	1.05	1.00	1.00	-
		宅地	0.27	0.28	0.27	0.28	0.30	0.31	0.33	0.34	0.34	-
		山林	16.89	16.88	17.41	17.50	17.40	17.29	17.20	17.27	17.27	-
	旧月ヶ瀬村 (奈良市)	田	3.03	3.15	3.25	2.71	2.59	2.44	2.42	1.35	1.29	-
		畑	0.28	2.80	2.80	2.40	2.37	2.95	3.01	3.47	3.50	-
		宅地	0.32	0.39	0.53	0.53	0.47	0.47	0.48	0.52	0.52	-
		山林	12.39	12.21	11.91	12.22	12.14	11.51	10.94	11.14	11.08	-
	山添村	田	9.36	8.91	9.32	9.64	9.30	9.10	8.44	7.99	7.86	-
		畑	7.58	7.26	7.75	7.40	7.19	7.29	7.17	7.43	7.50	-
宅地		0.99	1.04	1.23	1.16	1.16	1.20	1.27	1.43	1.53	-	
山林		35.43	36.14	34.78	33.50	33.04	31.75	32.32	32.08	32.16	-	
奈良県	宇陀市	田	(21.53)	(22.19)	(19.29)	(20.86)	(20.27)	(19.65)	(19.06)	(18.28)	(17.70)	17.47
		畑	(9.48)	(10.12)	(8.48)	(9.34)	(9.00)	(9.02)	(8.93)	(9.14)	(9.22)	9.08
		宅地	(2.35)	(2.79)	(3.19)	(3.96)	(4.09)	(4.39)	(4.66)	(4.81)	(4.95)	5.04
		山林	(81.20)	(92.72)	(87.97)	(95.98)	(95.94)	(95.64)	(94.89)	(94.09)	(93.72)	94.09
		その他	(114.13)	(127.35)	(117.19)	(127.62)	(126.57)	(126.10)	(124.75)	(122.84)	(122.03)	-
	旧大宇陀町 (宇陀市)	田	6.75	6.86	6.32	6.54	6.49	6.41	6.30	6.02	5.91	-
		畑	3.25	3.42	2.98	3.10	3.09	3.05	3.17	3.23	3.25	-
		宅地	0.74	0.83	0.86	1.00	1.03	1.09	1.15	1.17	1.18	-
		山林	14.78	16.67	15.52	16.80	16.87	16.86	16.90	16.44	16.45	-
		その他	25.50	27.76	25.65	27.14	27.16	27.06	27.14	25.94	25.89	-
	旧菟田野町 (宇陀市)	田	3.09	3.12	2.48	2.94	2.86	2.69	2.63	2.48	2.37	-
		畑	1.56	1.62	1.26	1.50	1.47	1.54	1.53	1.55	1.52	-
		宅地	0.35	0.44	0.45	0.59	0.61	0.64	0.66	0.69	0.69	-
		山林	10.63	11.99	11.29	12.71	12.66	12.37	12.40	12.10	12.01	-
		その他	15.51	17.03	15.44	17.63	17.50	17.13	17.11	16.67	16.43	-
	旧榛原町 (宇陀市)	田	6.95	7.17	5.66	6.30	5.95	5.75	5.49	5.22	5.03	-
		畑	2.52	2.79	2.21	2.53	2.28	2.32	2.16	2.28	2.32	-
		宅地	0.75	0.91	1.26	1.65	1.70	1.89	2.00	2.08	2.18	-
		山林	22.66	26.90	24.49	25.53	25.60	25.55	25.00	24.98	25.10	-
		その他	32.76	37.64	33.05	35.47	34.93	34.98	34.03	33.83	33.87	-
旧室生村 (宇陀市)	田	4.74	5.04	4.84	5.08	4.96	4.81	4.64	4.57	4.39	-	
	畑	2.15	2.29	2.03	2.21	2.16	2.11	2.07	2.08	2.12	-	
	宅地	0.52	0.61	0.61	0.73	0.75	0.78	0.85	0.88	0.89	-	
	山林	33.13	37.16	36.68	40.96	40.81	40.87	40.58	40.57	40.15	-	
	その他	40.37	44.93	43.06	47.39	46.99	46.94	46.46	46.41	45.83	-	
曾爾村	田	5.99	5.68	3.79	2.56	2.32	2.27	2.21	2.14	1.92	-	
	畑	4.64	4.50	2.98	2.08	1.85	1.81	1.72	1.68	1.39	-	
	宅地	0.75	0.95	0.73	0.54	0.46	0.47	0.47	0.48	0.55	-	
	山林	35.14	35.14	39.37	42.02	42.63	42.68	42.81	42.93	42.22	-	
	その他	1.32	1.58	0.98	0.64	0.58	0.61	0.62	0.61	1.75	-	
御杖村	田	7.26	5.62	4.34	5.22	5.03	5.04	5.32	5.21	5.15	-	
	畑	4.01	3.34	2.48	3.12	3.07	2.93	2.78	2.75	2.69	-	
	宅地	0.66	0.68	0.96	1.23	1.23	1.25	1.28	1.35	1.38	-	
	山林	63.10	65.25	67.79	65.98	64.46	64.59	64.40	64.46	64.56	-	
	その他	0.58	0.72	0.04	0.06	1.82	1.81	1.82	1.84	1.83	-	

※「-」は、未公表を示す。

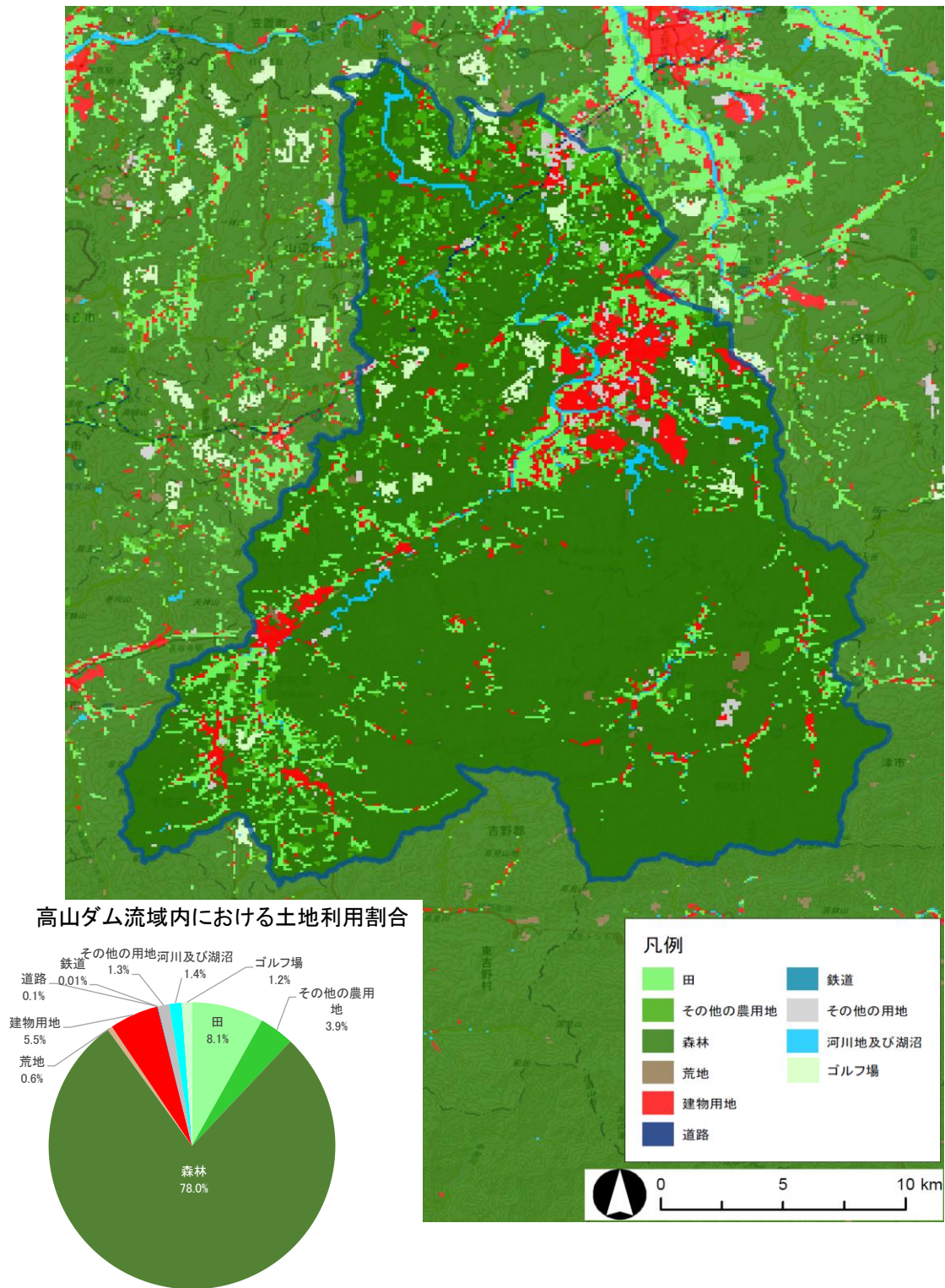


図 7.2.1-6 高山ダム流域内の土地利用の状況

高山ダム水源地域では、名張市や伊賀市旧上野市地区を除いて、南山城村、奈良市旧月ヶ瀬村地区、山添村で約80%が山林で占められ地形も急峻で平地は少ない。

南山城村、奈良市旧月ヶ瀬村地区、山添村に共通する産物として、茶やシイタケがある。茶は地質・気候に恵まれていることもあって、良質煎茶の生産地として知られており、シイタケ栽培は山林に恵まれていることもあり、近年生産量が増加している。

伊賀市旧上野市地区では昔からの水稲に加え、最近ではイチゴ等のハウス栽培やブドウ等の果樹園芸が行われている。

また、伝統産業として月ヶ瀬村では奈良晒製織、伊賀市旧上野市地区では伝統工芸品に指定されている伊賀組紐、良質土で焼かれた伊賀焼、士族の内職から発達した伊賀傘などの生産が行われている。

7.2.2 ダムの立地特性

(1) ダムへのアクセス

周辺都市からの交通網を図7.2.2-1に、高山ダム水源地域立地を図7.2.2-2に示す。

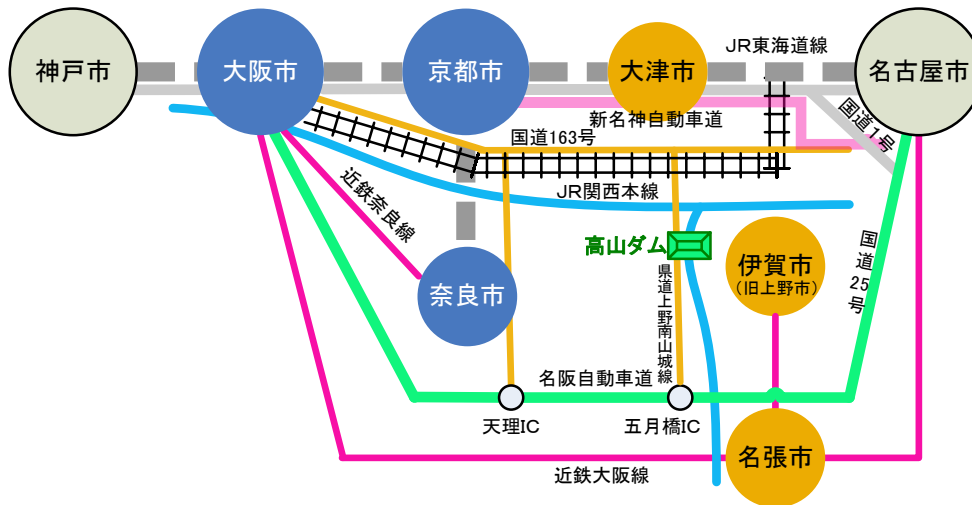


図7.2.2-1 周辺都市からの交通網

高山ダム水源地域には、奈良県内で最大の都市である奈良市をはじめ、三重県第7位の人口を持つ伊賀市、同8位の名張市が立地している。

高山ダム水源地域には、広域幹線である名阪自動車道、国道25号及び新名神高速道路が東西方向に縦走り、大阪及び名古屋方面からのアクセス利便性に優れている。

流域内には国道163号、県道上野南山城線が南北方向に縦走しており、高山ダムやダム湖周辺の施設等に容易にアクセスできる。

高山ダムの北方約2kmを東西方向にJR関西本線が通過しており、鉄道を利用した高山ダムへのアクセスも可能である。

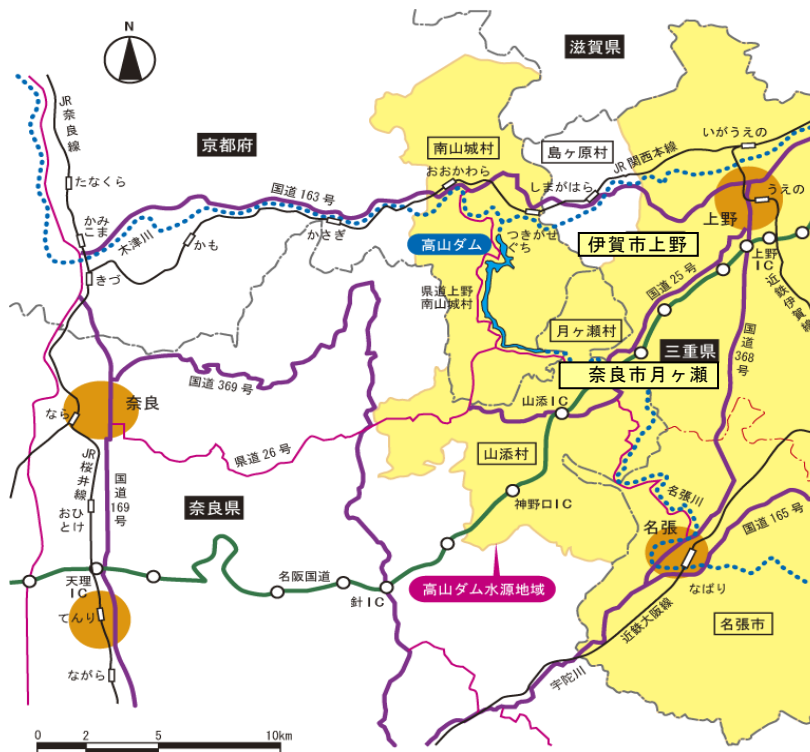


図7.2.2-2 高山ダム水源地域立地

a) 交通機関別アクセス条件

【道 路】

○広域幹線道路

高山ダム水源地域のほぼ中央には、大阪と名古屋を結ぶ名阪国道及び国道 25 号が東西方向に通っており、大阪都市圏及び名古屋都市圏からはそれぞれ約 1 時間半で到達することができる。

○地域内幹線道路

高山ダム堤体の下流約 2km には木津川に沿って国道 163 号が東西方向に通過しており、高山ダム貯水池左岸を通る県道上野南山城線（82 号）と交差している。また、高山ダム堤体の南方約 20 km には国道 165 号が東西方向に通過しており、名阪国道と国道 165 号、国道 163 号が地域内における東西方向の軸を形成している。

これらの東西軸を結ぶように高山ダムの東方約 10km に国道 368 号が南北に通っているほか、高山ダム貯水池の左岸側を通り、名張市に至る県道が地域内の南北軸を形成している。

以上の道路網によって、高山ダム水源地域は、交通利便性は比較的良好、近隣市町村からのアクセスが容易であるといえる。

【鉄 道】

J R 関西本線が高山ダムの北方約 2 km を東西に通っており、高山ダム及びダム湖へは、月ヶ瀬口駅から徒歩約 30 分で到達できる。また、高山ダム貯水池上流端の南方約 10km を近鉄大阪線が通っており、名張駅から自動車です約 30 分で到達できる。

b) 高山ダム周辺へのアクセス条件

高山ダム周辺へのアクセスは、木津川の下流側から、名張川の上流側から、奈良市方面からの 3 方向がある。

木津川の下流側からのアクセスは、国道 163 号から県道上野南山城線を通りダム堤体左岸側に至るルートで、国道 163 号の分岐から自動車です約 10 分で堤体に到達できる。

名張川の上流側からのアクセスは、名阪国道の五月橋 IC もしくは国道 25 号から、県道笠置山添線及び上野南山城線を経て、貯水池左岸側の末端部にアクセスするルートで、五月橋 IC から自動車です約 20 分で高山ダムに到達できる。

また、奈良市方面からのアクセスは、名阪国道を利用するか、国道 369 号、県道 25 号等を通り、貯水池上流の左岸側にアクセスできるルートがあり、奈良市内から概ね 1 時間で高山ダムに到達できる。。

(2) ダム周辺の観光施設等

高山ダム周辺には図 7.2.2-3 に示したような観光資源がある。



出典：高山ダム管理所 HP

図 7.2.2-3 高山ダム周辺の観光施設

7.3 ダム事業と地域社会情勢の変遷

高山ダム事業と地域社会の変化(年表)を表7.3-1に示す。

高山ダム水源地域では、近年ダム湖を利用したイベント(月ヶ瀬レガッタ、むら活き生きまつり等)が多く行われるようになっている。

表 7.3-1 高山ダム事業と地域社会の変化(年表)

年代	高山ダム事業と インフラ整備事業	地域社会の変化(新規産業活動、住民活動、交流活動)				
		南山城村	月ヶ瀬村 ↓ 奈良市月ヶ瀬 (H17年～)	山添村	上野市 ↓ 伊賀市伊賀上野 (H16年～)	名張市
明治22年			月ヶ瀬村誕生			
昭和16年					上野市誕生	
28年		南山城村誕生				
29年						名張市誕生
30年						名張小学校開校
31年				山添村誕生		
32年	高山ダム建設説明会開催					
34年						消防本部開庁
35年						新町橋復旧
36年				役場庁舎完成		
37年	高山ダム工事事務所設置					火葬場完成
38年				山添分校校舎完成		
39年						
40年	本体工事着手 名阪国道開通	水没移転家屋 43戸 水没面積 11,896a	水没移転家屋 74戸 水没面積 6,918a	水没移転家屋 4戸 水没面積 1,761a	水没移転家屋 67戸 水没面積 3,348a	上水道給水開始
41年	コンクリート打設開始	附帯工事 4,548a	附帯工事 1,006a		附帯工事 100a	
42年	国道25号線付替 主要地方道奈良津線付替	村内小学校プール完成				
43年	本体コンクリート打設完了		「月ヶ瀬村」に改名			
44年	竣工式・管理開始	大河原小学校体育館完成				
45年		高山ダム広場で第1回花火大会				
46年		～ 山辺広域市町村圏指定 ～				
47年		大河原地区簡易水道完成 南山城少年自然の家「グリーンパ ル南山城」		山辺広域圏事業によるゴミ収集 開始		
48年	国道165号全線開通	高山郵便庁舎竣工				青蓮寺湖
49年				山辺広域消防組合山添署業務 開始		老人福祉センター完成 特別養護老人ホーム完成
51年		今山地区簡易水道完成				青蓮寺観光農園
52年		田山地区簡易水道完成				名張自然休養村ロマンの森
54年		南山城村高尾公民館竣工		自然休養村管理センター完成	ゆめドームうえの	香落溪温泉
55年		高尾地区簡易水道完成			岩倉溪ふれ愛公園	勤労者福祉会館開館
57年			茶オーナ	山添村ふるさとセンター	忍者博物館	名張公民館完成
58年				総合スポーツセンター完成	たんじり会館	
60年				基幹集落センター完成		保険センター完成
62年		レイクオレストリゾート		山添中学校開校		
63年			松原市少年自然の家「カエト 月ヶ瀬」	し尿処理センター稼働		
平成3年		南山城村文化会館オープン(やま なみホール)	梅の里 月ヶ瀬温泉			
4年		南山城村図書室オープン	湖畔の里 つきがせ			郷土資料室オープン
5年		高尾小学校体育館竣工	梅の里ふれあい館	歴史・民俗資料館開館		赤目四十八滝キャンプ場
7年	地域坊さん無線局開設		ロマンピア月ヶ瀬オープン			
8年	フォローアップ調査	総合グラウンド改修		「茶の里映山紅」		
9年	比奈知バイパス開通		月ヶ瀬オフロードラン			市立病院完成
10年	剣道名張奈良線開通	中央簡易水道完成	福祉センター			
12年	国道368号上野バイパス開通	村民体育祭 中学校駅伝競技大会				
13年	水源地域ビジョン	高山ダムクォーターマラソン	月ヶ瀬レガッタ大会			
14年	管理所耐震改良工事 非常用洪水吐ゲート開閉後管 理省	保険福祉センターオープン イベントの開催、環境学習の実施、環境保全活動の継続と充実、地元の地域住民による交流会設立、ゴミ不法投棄に係わる組織設立、観光ガイドの育成、水源地域P R		やまぞえ小学校開校		
15年				国営総合農地開発事業「大和 高原北部地区」完工		
16年				カントリーパーク大川オープン	周辺町村と合併し伊賀市伊賀 上野となる	
17年			奈良市に編入合併され奈良市 月ヶ瀬となる			
18年		むら活き生きまつり 中学校駅伝競技大会	月ヶ瀬レガッタ大会			
19年	新名神高速道路開通	村民体育祭 中学校駅伝競技大会	月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会 月ヶ瀬レガッタ大会	大和高原民俗資料館開館	第2回高山ダム湖環境フォーラ ム	
20年	一般農道「豊原地区」開通	むら活き生きまつり 村民体育祭 中学校駅伝競技大会	以降、「月ヶ瀬梅溪早春マラソ ン大会」「月ヶ瀬レガッタ(奈良市 民レガッタ競技会)」は毎年実施			
21年						
22年						
23年		以降、「むら活き生きまつり」「村 民体育祭」「中学校駅伝競技大 会」は毎年実施				
24年						
25年						
26年						

凡例
 市町村誕生、合併等
 高山ダム建設に伴う直接的な変化
 イベント、住民活動、交流活動
 交流施設、地域振興拠点等の開設

高山ダム事業による水源地域への直接的な影響を表 7.3-2 に、公共施設補償を表 7.3-3 に、道路改良付替え位置を図 7.3-1 に示す。

表 7.3-2 直接的な影響

一般補償	土地		295.82ha
		山林	245.45ha
		農地	41.77ha
		宅地	8.50ha
		その他	0.05ha
建物	家屋移転	196戸	
公共補償	付替道路19.0km(国道1.88km、府県道11.33km、市道5.80km)		
特殊補償	漁業権		4件
	鉱業権		1件
	月ヶ瀬梅林		1件

(世帯)

移転種別	南山城村	月ヶ瀬村	山添村	上野市	合計
水没による移転	43	74	4	67	188
附帯工事		7		1	8
計	43	81	4	68	196

表 7.3-3 公共施設補償 (件)

	学校	官公庁等	神社	プール
南山城村		5	5	2
月ヶ瀬村		9	9	3
山添村				1
上野市	1	3		1
計	1	17	14	7

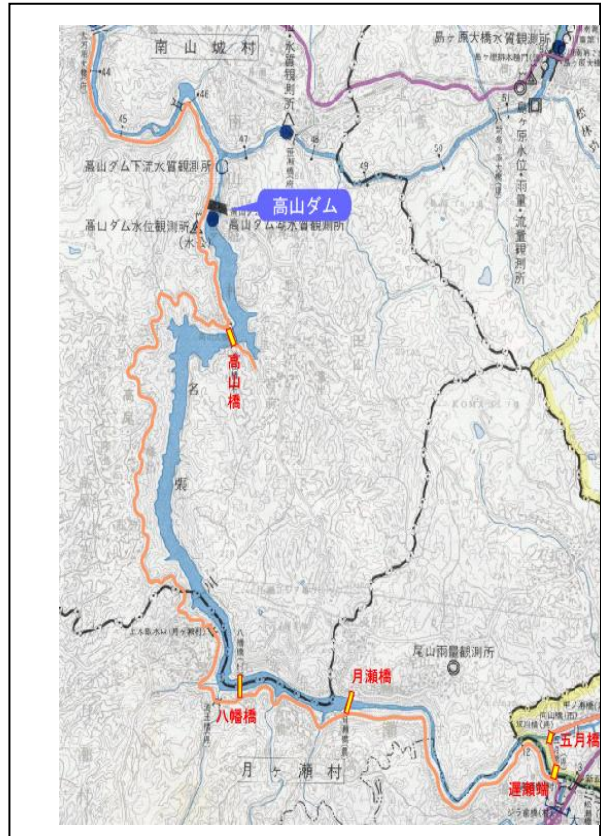


図 7.3-1 道路改良付替え位置

7.4 ダムと地域の関わりに関する評価

7.4.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理

高山ダムでは、水源地域ビジョンの基本的な事項を定めた「水源地域ビジョン策定要綱」（平成13年4月12日、国土交通省）に沿って、地元住民や関係機関等が共同して「高山ダム水源地域ビジョン」を検討し、策定した。

「高山ダム水源地域ビジョン」は、“高山ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化のための行動計画”として、高山ダム水源地域の活性化に向けた基本方針を定め、基本方針の実現のための具体的な方策を、ソフト対策に重点を置いて検討、策定したものである。

具体的施策の策定にあたっての基本的な取り組み内容と考え方を以下に示す。

1) 水辺環境の保全・向上

現在の水環境を将来に渡って適切に維持・継承していくために、ダムや河川管理者だけでなく、地域の自治体や住民等が協力、連携しながら、ダム湖や周辺河川での水質保全対策を中心に、現存する水辺環境の適切な保全・向上を推進する。

2) 既存資源の有効利用

高山ダム周辺地域の地場産業を活用するとともに、地域にある既存の施設等を結ぶ様々なネットワークを形成するなどによって、高山ダム水源地域にある既存資源の有効利用を図る。

3) 貯水池周辺施設や湖面利用に係わる施設等の充実

高山ダム周辺地域の観光レクリエーション拠点としての機能を向上させるために、貯水池周辺施設や湖面利用に係わる施設等の充実を図る。

4) 交流活動の促進

高山ダム水源地域の持つ地域資源を有効に活かしつつ、情報の発信・共有化を推進するとともに、イベントの開催などの取り組みを進めることによって、地域内外での交流を促進する。

5) 地域活動の活性化

地域住民が主体的、かつ、永続的に、地域活性化に向けた様々な取り組みや活動を行っていただけるように、関係機関による積極的な支援を行いつつ、現在行われている地域活動の継続・充実と、新たな地域活動に向けた取り組みの推進を図る。

7.4.2 地域とダム管理者の関わり

(1) 高山ダム水源地域ビジョンの策定

高山ダム水源地域ビジョンの検討・策定は、以下に示す関係機関等により構成される「高山ダム水源地域ビジョン策定会議」によって行った。なお、同組織は緩やかな組織として規約等を設けずにビジョンの検討・策定にあたった。

- ・ 学識経験者 大学教授
- ・ 水源地域自治体 南山城村、月ヶ瀬村、山添村、上野市、名張市
- ・ ダム管理者等 水資源開発公団(現独立行政法人水資源機構)、
関西電力株式会社
- ・ 水源地域の住民団体等 木津川漁業協同組合、波多野漁業協同組合、
月ヶ瀬村漁業協同組合、五月川漁業協同組合、
豊里漁業協同組合、木津川を美しくする会、
南山城村地域づくり研究会
- ・ 関係行政機関 国土交通省、京都府、三重県、奈良県

また、具体の検討作業は、下部組織である「高山ダム水源地域ビジョン策定連絡会」において行った。

高山ダム水源地域ビジョンの検討・策定は表 7.4.2-1 に示すように、策定連絡会 3 回(平成 14 年 10 月 17 日、平成 14 年 11 月 20 日、平成 15 年 2 月 5 日)、策定会議 1 回(平成 15 年 2 月 26 日)を開催し、各々の審議・検討項目に沿って検討を進め、平成 15 年 2 月 26 日の策定会議において「高山ダム水源地域ビジョン」を策定した。

高山ダム水源地域ビジョンの策定組織メンバーを表 7.4.2-2 に、策定した「高山ダム水源地域ビジョン」の概要を表 7.4.2-3 に示す。

表 7.4.2-1 高山ダム水源地域ビジョン策定経緯

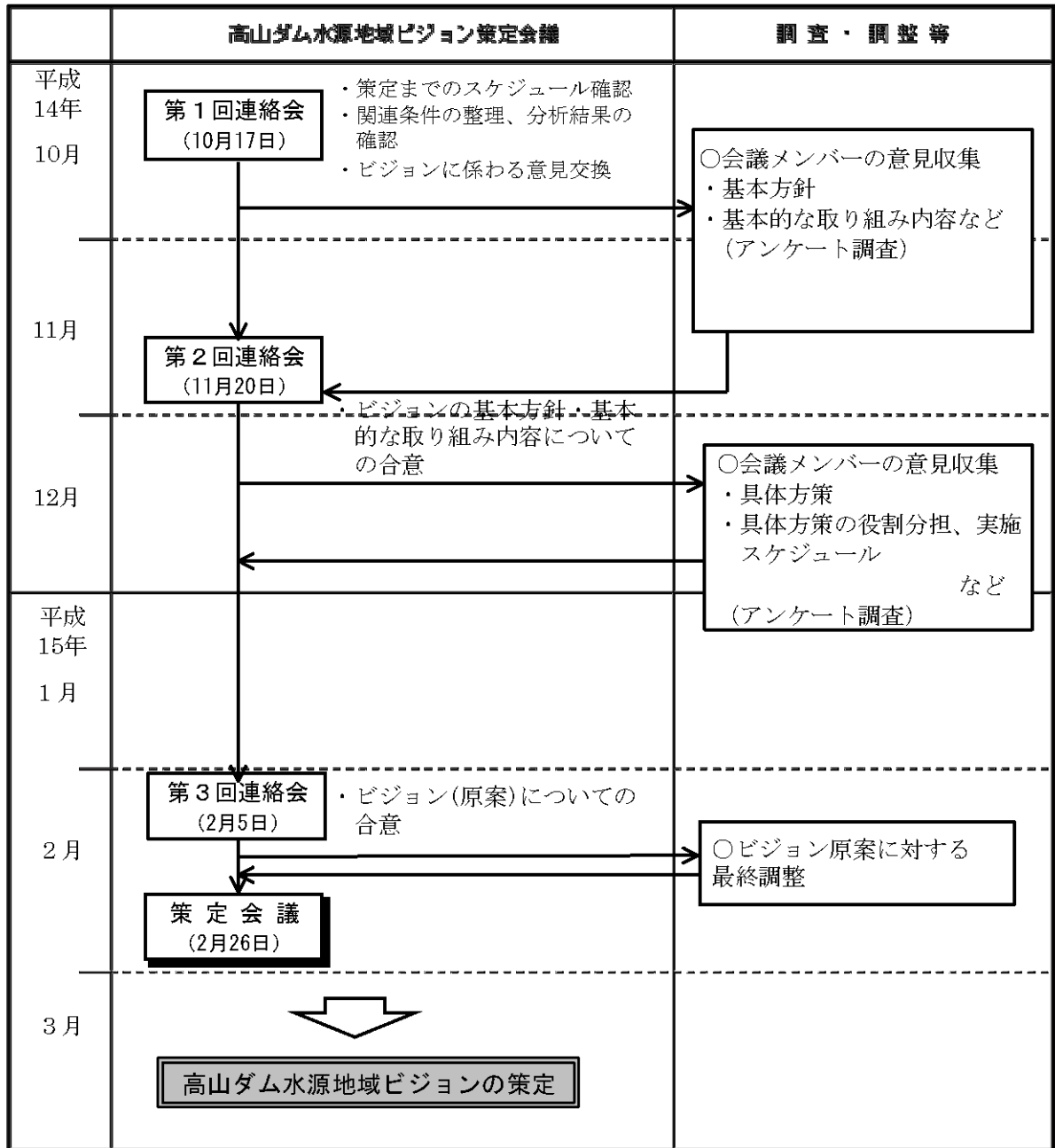
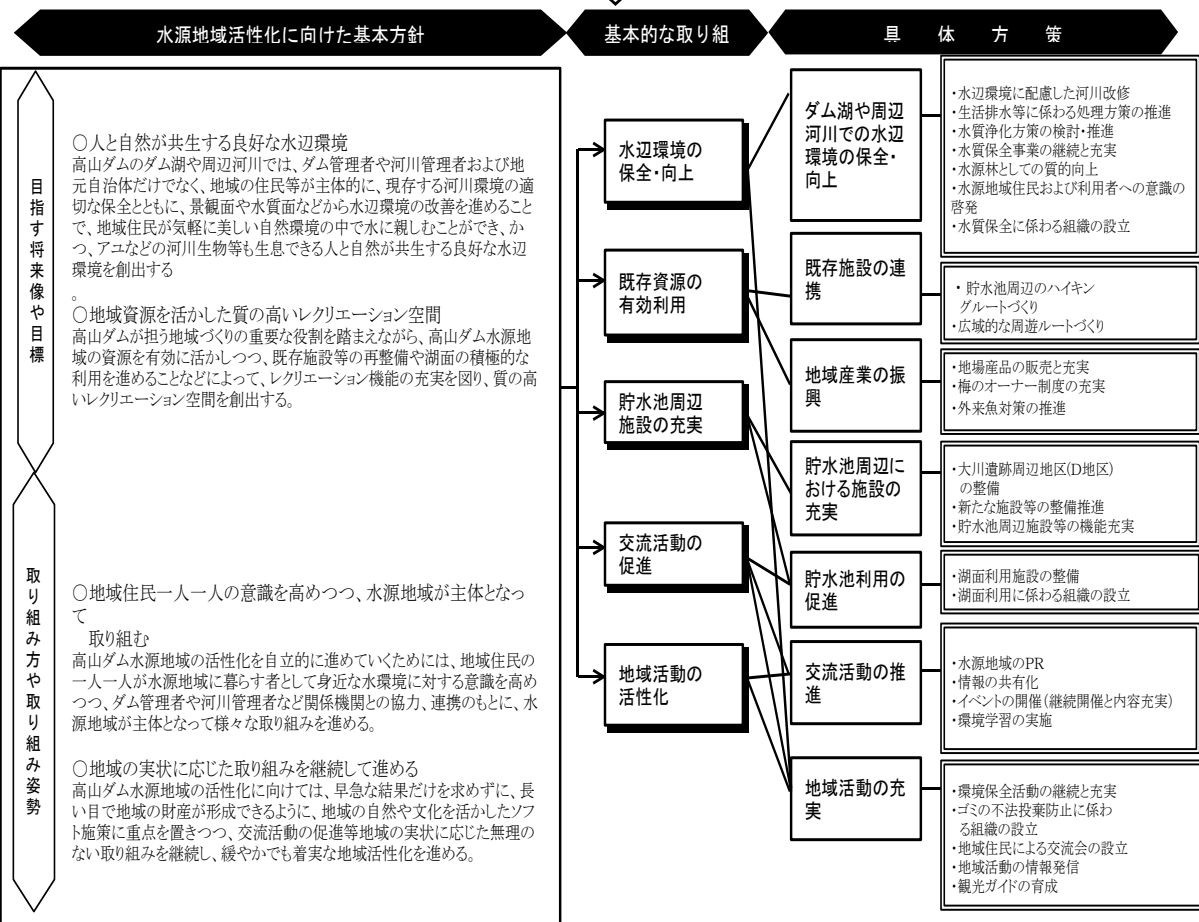


表 7.4.2-2 高山ダム水源地域ビジョンの策定組織メンバー

	策 定 会 議	策 定 連 絡 会
学識経験者	大学教授	大学教授
水源地域自治体		
南山城村	村長	企画財政課長
月ヶ瀬村	村長	産業課長
山添村	村長	企画財政課長
上野市	市長	土木部道路河川課長
名張市	市長	企画調整部企画調整課長
水源地域住民団体等		
木津川漁業協同組合	—	代表理事組合長
波多野漁業協同組合	—	組合長
月ヶ瀬村漁業協同組合	—	組合長
五月川漁業協同組合	—	組合長
豊里漁業協同組合	—	組合長
木津川を美しくする会	—	会長
南山城村地域づくり研究会	—	会長
ダム管理者等		
水資源開発公団 (現独立行政法人 水資源機構)	関西支社 支社長	関西支社 管理部長
		関西支社 管理部施設課長
	木津川ダム総合管理所長	管理課長
		高山ダム管理所長
関西電力(株)奈良支店	支店長	支店長室長
関係行政機関 (オブザーバー)		
国土交通省 近畿地方整備局	河川部河川管理課長	河川管理課ダム管理係長
	木津川上流工事事務所長	調査課長
	淀川ダム統合管理事務所長	広域水管理課長
京都府	企画環境部長	企画参事付課長補佐
三重県	地域振興部長	県土利用・水資源・地域圏推進チーム
奈良県	企画部資源調整課長	水資源グループ主幹

表 7.4.2-3 高山ダム水源地域ビジョンの概要

《高山ダム水源地域の特定》		《水源地域自治体の目指す方向性と高山ダムの位置づけ等》	
<p>水源地域の全体</p> <ul style="list-style-type: none"> 3府県にまたがる水源地域 集客力のある観光資源 高いアクセス利便性 地域を特徴づける地場産品 	<p>活性化に向けた課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> 水源地域内に立地する観光施設間の連携が不十分 	<p>○水源地域自治体の目指す地域整備の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南山村村の目指す地域整備 <ul style="list-style-type: none"> ・むらづくりの目標：「自然が薫り、人が輝く 元気村！みなみやましろ」 ○月ヶ瀬村の目指す地域整備 <ul style="list-style-type: none"> ・むらづくりの目標：「いきいきとしたうるおいの里づくり」 ○山添村の目指す地域整備 <ul style="list-style-type: none"> ・むらづくりのキャッチフレーズ：「いいいいいいいいいい山添」 ○上野市の目指す地域整備 <ul style="list-style-type: none"> ・街づくりの目標（将来像）：「ときを伝え、ときを拓く、創造と交流の都市」 ○名張市の目指す地域整備 <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりのテーマ：「人と自然がきらめくしか生活文化都市 名張」 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・国土庁が南山村を対象に、交流と連携をテーマにした活性化のあり方について検討しており、具体策が提起されている。 	<p>○高山ダムの位置づけ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南山村村における高山ダムの位置づけ等 <ul style="list-style-type: none"> ・高山ダム及び周辺地域の豊かな自然資源との共生とその活用を基本とし、自然環境の保全とともに水面や水辺におけるレクリエーション空間としての活用の推進や自然体験学習等を軸にした自然、歴史、民族、文化資源を観光レクリエーション資源として活用し、広域的な交流活動、観光レクリエーションの振興に結びつけるために、村内の既存施設を活用して多様なレクリエーション拠点の形成を推進するとともに、それらの拠点を結ぶネットワークの整備を目指す。 ○月ヶ瀬村における高山ダムの位置づけ等 <ul style="list-style-type: none"> ・「景観保全活用ゾーン」として良好な景観や湖面を利用した観光レクリエーション機能の導入が検討されている。具体的には、ボートや遊覧船、魚釣り等による湖面利用の推進やダム周辺でのイベントの充実、宿泊・研修施設の整備誘導によって滞在型のレクリエーション基地の形成などの具体策が示されている。



(2) 実行連絡会の実施状況

至近5ヵ年における高山ダム水源地域ビジョン実行連絡会の実施状況を表7.4.2-4に示す。

表 7.4.2-4 実行連絡会の実施状況

年度	実施日	内容
平成 22 年度	7 月 22 日	関係自治体、機関等から平成 21 年度の取り組み等の報告及び平成 22 年度の計画の報告が行われた。
平成 23 年度	8 月 4 日	関係自治体、機関等から平成 22 年度の取り組み等の報告及び平成 23 年度の計画の報告が行われた。
平成 24 年度	10 月 22 日	関係自治体、機関等から平成 23 年度の取り組み等の報告及び平成 24 年度の計画の報告が行われた。
平成 25 年度	11 月 28 日	関係自治体、機関等から平成 24 年度の取り組み等の報告及び平成 25 年度の計画の報告が行われた。
平成 26 年度	12 月 5 日	関係自治体、機関等から平成 25 年度の取り組み等の報告及び平成 26 年度の計画の報告が行われた。

(3) 管理者の地域に向けた活動等

高山ダムでは、地域に対しダム見学会等を開催し、ダムの働きや仕組みについて知ってもらう活動を行っている。

平成22年度から平成26年度のダム見学等実施状況、見学者数は図7.4.2-1、表7.4.2-5に示すとおりである。

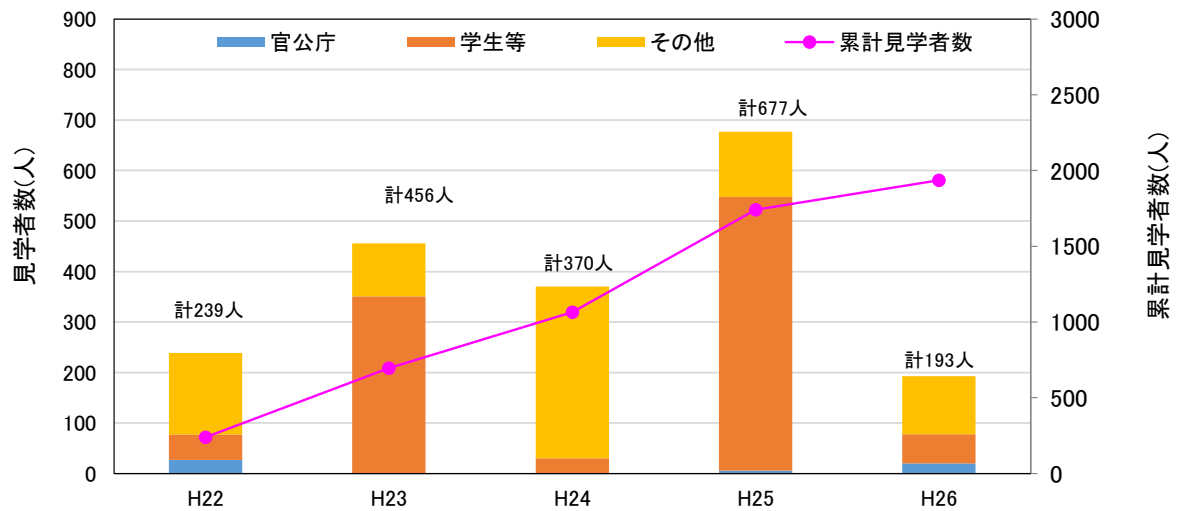


図 7.4.2-1 高山ダムの見学者数（平成22年度から平成26年度）

図 7.4.2-5 高山ダムの施設見学等実施状況 (平成 22~26 年)

年	実施日	団体等	内容・見学者数等
H22	H22.8.13	日本ボーイスカウト東大阪が高山ダム見学	施設見学 40名が参加
	H22.10.23	井手小学校が高山ダム見学	施設見学 50名が参加
H23	H23.5.14	京都教育大学見学	施設見学 20名が参加
	H23.6.6	京田辺市立桃園小学校見学	施設見学 99名が参加
	H23.6.12	河川レンジャー高山ダム見学会	施設見学 32名が参加
	H23.6.14	奈良市シルバー歩こう会見学	施設見学 33名が参加
	H23.7.16	ボーイスカウト見学	施設見学 21名が参加
	H23.10.3	見学	施設見学 3名(青蓮寺ダム地元住民)が参加
	H23.10.7	宇治私立島小学校見学	施設見学 102名が参加
	H23.10.13	井手小学校	施設見学 51名が参加
	H23.11.10	京都インターナショナルユニバーシティイーアカデミー見学	施設見学 79名が参加
	H23.11.20	アセンブリ京都協会	施設見学 16名が参加
H24	H24.6.21	城陽市立深谷小学校	施設見学 生徒46名(小5) 先生6名が参加
	H24.7.20	香川県丸亀市丸亀浄水場	水質保全設備(曝気、分画フェンス)見学 浄水場職員など12名が参加
	H24.7.22	城陽市 防災組織(地区代表等)	施設見学 21名以内
	H24.8.6	一般奈良県在住	施設見学 9名が参加
	H24.9.12	平成25年南山城村出初式	南山城村総合グラウンドで開催される
	H24.11.16	木津川上流散策路フォトウォーク	施設見学参加者約45名
H25	H25.2.20	木津警察署新人研修	概要説明及び施設見学 研修者2名、警備課徴引率
	H25.2.22	国土交通省筑後川ダム統管	高山ダムの水質回線設備(曝気・噴水) 6名が参加
	H25.4.26	社会医療法人 幾内会 岡波看護専門学校	施設見学(降雨のため散策できず来訪) 生徒18名(10~20歳代)先生2名が参加 計20名
	H25.5.3	少年自然の家公募イベントの一環	施設見学 大人12名、高校5名、小学21名、幼児3名 引率1名が参加 計42名
	H25.5.9	京田辺市立普賢寺小学校	施設見学 生徒25名(小4・5) 先生3名が参加 計28名
	H25.5.16	木津川市立棚倉小学校	施設見学 生徒60名(小5) 先生2名が参加 計62名
	H25.6.5	宇治田原市立田原小学校・宇治田原小学校	施設見学 生徒97名(小5) 先生9名が参加 計106名
	H25.6.6	精華町立東光小学校	施設見学 生徒113名(小5) 先生9名が参加 計122名
	H25.6.14	京田辺市立桃園小学校	施設見学 生徒142名(小4・5) 先生9名が参加 計151名
	H25.6.28	中大阪朝鮮初級学校	施設見学 生徒34名、先生6名が参加 計40名
	H25.7.8	城陽市立寺田南小学校	施設見学 生徒60名(小5) 先生5名が参加
	H25.7.11	京都市立桃陽総合支援学校	施設見学 生徒28名(小2~中3) 先生14名が参加 (小学部14名、中学部14名)
	H25.7.29	木津川市在住(上嶋氏)ダム見学	施設見学 小四4名、小二1名、年長2名、大人4名 計11名
	H25.8.2	京都市在住(久保田氏)ダム見学	施設見学 小四1名、子ども3名、大人1名 計5名
	H25.8.4	城陽市 古川校区防災推進委員会25年度役員	施設見学 16名
	H25.8.29	木津川市在住(中野氏)ダム見学	施設見学 小四1名、中一1名、大人2名 計4名
	H25.10.3	京都インターナショナルユニバーシティイーアカデミー	施設見学 小1・2 30名、先生3名 計33名
	H25.12.6	相楽東部広域連立 南山城小学校	施設見学 小四10名、先生2名 計12名
H26	H26.3.15	月ヶ瀬梅林ウォーキング	高山ダム見学(11名)+随行者2名 計13名
	H26.3.22	月ヶ瀬梅林ウォーキング	高山ダム見学(16名)+随行者1名 計17名
	H26.5.30	笠置町議会	施設見学 10名が参加
	H26.8.3	城陽市	施設見学 20名が参加
	H26.10.2	入鹿土地改良区	施設見学 15名が参加
	H26.10.9	南山城村	施設見学 31名が参加
	H26.11.13	木津川市本町東地域自主防災会	施設見学 26名が参加
	H26.11.15	河川レンジャー	施設見学 22名が参加
	H26.11.27	門真市立大和田小学校	施設見学 58名が参加
	H26.3.26	精華町	施設見学 20名が参加

7.4.3 地域とダム管理者との関わりの評価

高山ダムでは、水源地域の自立的、持続的な活性化を目指し、地元住民や関係機関等が共同して「高山ダム水源地域ビジョン」を検討し、策定した。

高山ダム完成後、高山ダムを会場とするイベントが開催されるなど、地域活性化に貢献していると考えられる。また、管理者が開催する見学会への住民の参加者も多く、ダムの機能の学習だけでなく、環境教育の場としても利用され、地域にとって重要な役割を担っていると考えられる。

ダムを管理する水資源機構では、関係機関や地域との連携を図りながら、水源地域ビジョンに基づき、水源地域の自立的、持続的な活性化に貢献していると考えられる。

7.5 ダム周辺の施設状況

7.5.1 ダム周辺環境整備事業の状況

(1) ダム周辺の概況

高山ダム周辺は奈良県立月ヶ瀬・神野山自然公園に指定された地域であり、景勝地で、湖水と緑豊かな四季折々の自然景観の変化が楽しめる地域である。

また、周辺には伊賀上野（伊賀地域）、柳生の里（奈良地域）などの観光地が多く、大阪、京都、奈良及び名古屋などを結ぶ広域交通網も整備されていることから、多くの人々がダム湖を訪れている。

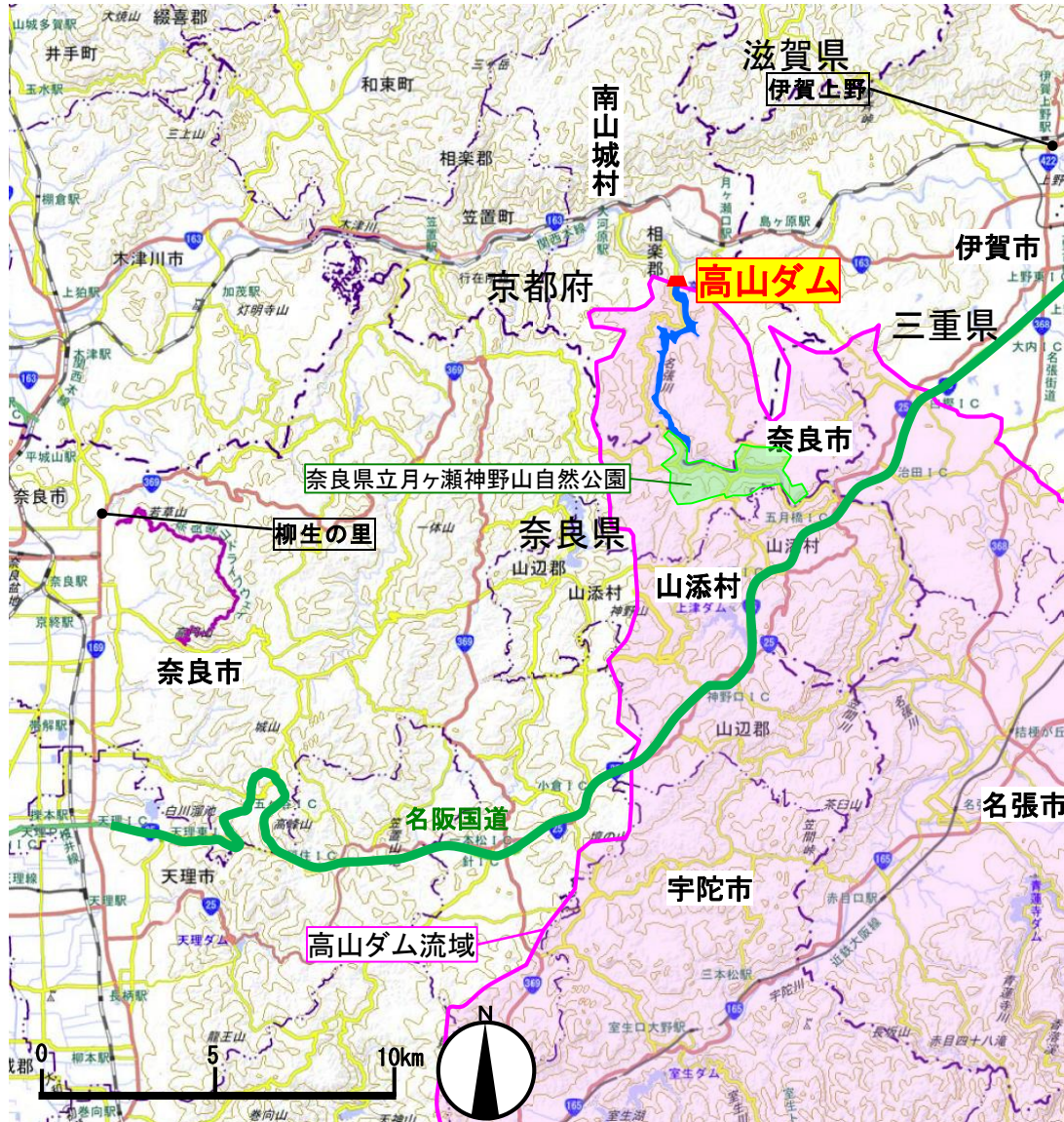
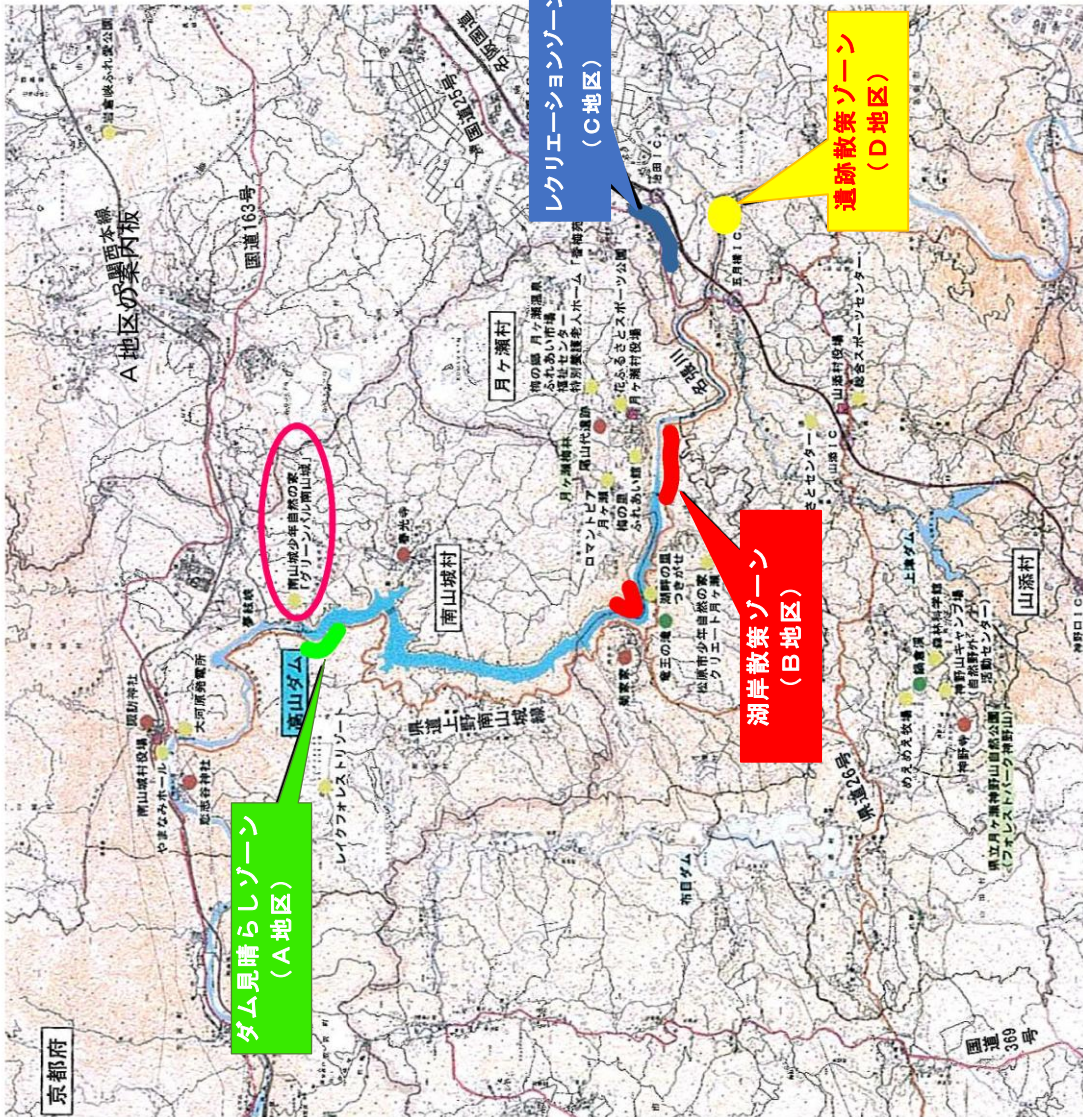


図 7.5.1-1 ダム周辺地域の状況（広域）



A地区の案内板



右岸側展望台



湖畔の里つきがせ



貯水池展望台

図 7.5.1-2 ダム周辺の施設整備状況



夢絃峡(南山城村)



レイクフォレストリゾート(南山城村)



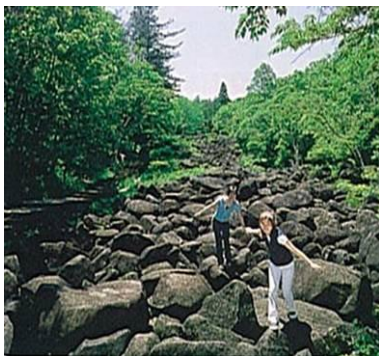
梅の郷 月ヶ瀬温泉(奈良市(旧月ヶ瀬村))



ロマントピア月ヶ瀬(奈良市(旧月ヶ瀬村))



月ヶ瀬梅林(奈良市(旧月ヶ瀬村))



鍋倉溪(山添村)



上野公園(伊賀市(旧上野市))



観阿弥ふるさと公園(名張市)

図 7.5.1-3 ダム周辺の観光資源

表7.5.1-1に、高山ダム周辺地域(南山城村、月ヶ瀬村、山添村、上野市、名張市)の観光・レクリエーション、文化施設等の概要を示す。なお、水源地域ビジョンにより新たに整備された施設はない。

表 7.5.1-1(1) 高山ダム周辺地域の観光・レクリエーション・文化施設等の概要(1)

市町村名	施設等名称	施設概要
南山城村	諏訪神社	・田山地区の氏神である。水の神で、雨乞い祈願が行われる。
	夢絃峡	・木津川と山々のコントラストが美しく、昔から景勝地として知られている。
	やまなみホール	・世界的な建築家、黒川紀章氏が南山城村の山並をイメージして設計した文化ホール。毎年7月には「やまなみ国際音楽祭」が開催されている。
	レイク フォレストリゾート	・人と自然のふれあいを目的とした宿泊、スポーツ、リゾート施設。
	大正原発電所	・大正ロマンが薫るレンガ造りの発電所。春には桜が満開となる。
	恋志谷神社	・後醍醐天皇のお妃が祀られ、恋愛成就、子授けなど女性の守り神。
	春光寺	・真言宗智山派に属する。平安時代初期の作と言われる薬師如来立像が有名。
	不動の滝	・村内の滝の中でも最も大きいもので、落差は約20mある。村の北部、童仙房高原にある。
	南山城少年自然の家 「グリーンパル南山城」	・自然に親しむことを目的とした集団宿泊型の施設。
	童仙房高原	・南山城村北部に位置し、東西8km、南北6kmに広がる高原。標高500mにあり、爽快な気候である。
奈良市 (旧月ヶ瀬村)	梅の郷 月ヶ瀬温泉	・露天風呂をはじめ、大・小の内風呂を備えた温泉施設。神経痛や筋肉痛等に効果的がある。
	ふれあい市場	・特産品や地元農家が栽培した野菜などを販売している。
	湖畔の里 つきがせ	・村内の特産品の直売や地域食材による郷土料理をたのしめる施設。
	ロマントピア月ヶ瀬	・茶の加工、地域の伝統食品づくり等の体験コーナーの他、手織りのぬくもりが伝わる奈良晒伝承教室も開かれる施設。
	松原市少年自然の家 「クリエート月ヶ瀬」	・緑豊かな自然の中にあり、宿泊、研修から、キャンプ、アスレチック、テニス等まで楽しめる施設。
	竜王の滝	・桃香野の滝谷川の上流にあり、落差は10m以上。真夏でも涼気があふれている。
	菊家家	・昭和43年に国の重要文化財に指定された、江戸時代中期の入母茅葺きの民家。
	梅の里ふれあい館	・奈良晒織機等が展示され、昔の生活や文化を学習できる。特産品直売コーナーや和室休憩所が完備されている。
	福祉センター	・平成10年にオープンした、在宅福祉サービスの充実と住民の健康増進を目的とした保健福祉施設。
	尾山代遺跡	・奈良時代前半から平安時代にかけての集落跡。竪穴式住居、掘立て柱建物などがある。
	花ふるさとスポーツ公園	・1969年に完成したスポーツ施設。
月ヶ瀬梅林	・1万本以上の梅林で、大正11年に名勝地に指定された。 (名勝指定第1号)	

表 7.5.1-1(2) 高山ダム周辺地域の観光・レクリエーション・文化施設等の概要(2)

市町村名	施設等名称	施設概要
山添村	県立 月ヶ瀬神野山自然公園	・昭和50年に指定された奈良県立自然公園。月ヶ瀬梅林と神野山のツツジ等を中心にした公園。
	鍋倉溪	・奈良県の天然記念物に指定されており、溶岩が流れ出したような景観を形成している。
	神野寺	・740年に僧行基によって建立されたと伝えられる。子孫繁栄、商売繁盛の祈願者が訪れる。
	大川遺跡	・名張川沿いの河岸で発見された縄文時代の遺跡で、瓦器や住居址が発掘されている。対岸には聖石である磨崖仏がある。
	神野山キャンプ場（自然 野外活動センター）	・ロッジやテントでのキャンプの他、日帰りでのバーベキューもできる。
	森林科学館	・自然と生き物の関わりを楽しみながら学習できる施設。
	めえめえ牧場	・広大な芝生広場に50頭以上の羊が放牧されている。
	山添村ふるさとセンター	・特産物販売所、保健福祉センターなどの複合施設。
	総合スポーツセンター	・グラウンド、テニスコート、ゲートボール場、体育館などを完備している。
伊賀市 （旧上野市）	ゆめドームうえの	・見本市や各種スポーツ大会、式典などが行える多目的ホール。
	上野森林公園	・多数の草や木、鳥、昆虫などとふれあえる公園。
	城之越遺跡	・古墳時代前期に有力者が祭祀を執り行ったと言われる遺跡。
	芭蕉の森公園	・俳句や自然と親しむ施設として、俳句の庭、俳句の森などがある。
	岩倉峡ふれ愛公園	・木津川の渓谷にあり、水と森に親しめる。園内には吊り橋やキャンプ場、遊具がある。
	上野公園	・園内には上野城、俳聖殿、忍者屋敷などの名所・旧跡がある。4月には桜も見られる。
	俳聖殿	・昭和17年に芭蕉生誕300年を記念して建設された聖堂。
	忍者博物館	・忍者屋敷や忍者体験館などがある。
	だんじり会館	・三基のだんじりと鬼行列が常設展示されている。
名張市	青蓮寺湖	・青蓮寺川に建設された青蓮寺ダムのダム湖。テニス、バードウォッチング、ブラックバス釣りなどができる。
	夏見廃寺跡	・7世紀末から8世紀前半に天武天皇の娘が建立したとされる古代寺院跡。
	名張藤堂家邸跡	・1636年から明治維新まで、名張に居を構えた藤堂宮内家の屋敷跡。
	青蓮寺観光農園	・ぶどう、いちご狩りが体験できる。
	名張自然休養村 ロマンの森	・青蓮寺湖畔にある収容定員350名のキャンプ場で、バンカロー、テントなどが整備されている。
	香落溪温泉	・青蓮寺湖畔にあり、慢性リウマチ、神経痛などに効果がある。
	観阿弥ふるさと公園	・「観阿弥創座之地」の記念碑が祀られており、毎年11月第1日曜日に観阿弥まつりが開催される。
	美旗古墳群	・昭和53年に国の史跡に指定された、伊賀地方最大規模の古墳群。

(2) ダム周辺環境整備事業の概要

1) ダム周辺環境整備事業の目的

高山ダムは完成が昭和44年と古いダムであり、ダム事業として周辺で特別の環境整備は実施していない。

ダム周辺には月ヶ瀬梅林をはじめとして、多くの観光施設があり、今後も多くの人々がダムを訪れることが見込まれるため、ダム貯水池周辺の環境を整備し、自然環境と調和を図るとともに、水と緑のオープンスペースの有効活用によって、快適なレクリエーションと憩いの場を提供することを目的に周辺整備に係る事業が行われた。

2) ダム周辺環境整備事業の基本方針

実施された整備事業は、当地域の特性から、「人と自然・歴史とのふれあい」を重視し、自然公園としての基本となる休息、展望、散策、レクリエーション、教育などの機能を有するダム公園とし、周辺地域の諸事業計画との整合を図り、地域の中で高山ダムのイメージが向上するよう配慮するものとされた。

◆ダム周辺環境整備事業の概要（整備地区）

「ダム周辺環境整備事業（昭和 61 年度から平成 7 年度）」は、ダム貯水池周辺の 4 地区において実施された。

ダム周辺環境整備事業の整備地区を図 7.5.1-4 に示す。



図 7.5.1-4 ダム周辺環境整備事業の整備地区

◆ダム周辺環境整備事業施設の管理

事業が完了した平成 8 年 3 月に、国土交通省近畿地方整備局木津川上流河川事務所、水資源機構及び各施設が位置する自治体とが、施設管理に関する基本協定を締結し、現在、関係する 1 市 3 村が各施設の維持・管理を行っている。

なお、各自治体は、地元住民等が組織する自治会、管理組合などに維持管理を委託している。

- | | |
|------------------|----------------|
| A 地区：ダム見晴らしゾーン | 京都府相楽郡南山城村 |
| B 地区：湖岸散策ゾーン | 奈良県奈良市（旧 月ヶ瀬村） |
| C 地区：レクリエーションゾーン | 三重県伊賀市（旧 上野市） |
| D 地区：遺跡散策ゾーン | 奈良県山辺郡山添村 |

(3) ダム周辺環境整備状況 (A地区：ダム見晴らしゾーン)

A地区のダム周辺環境整備状況を図7.5.1-5に示す。

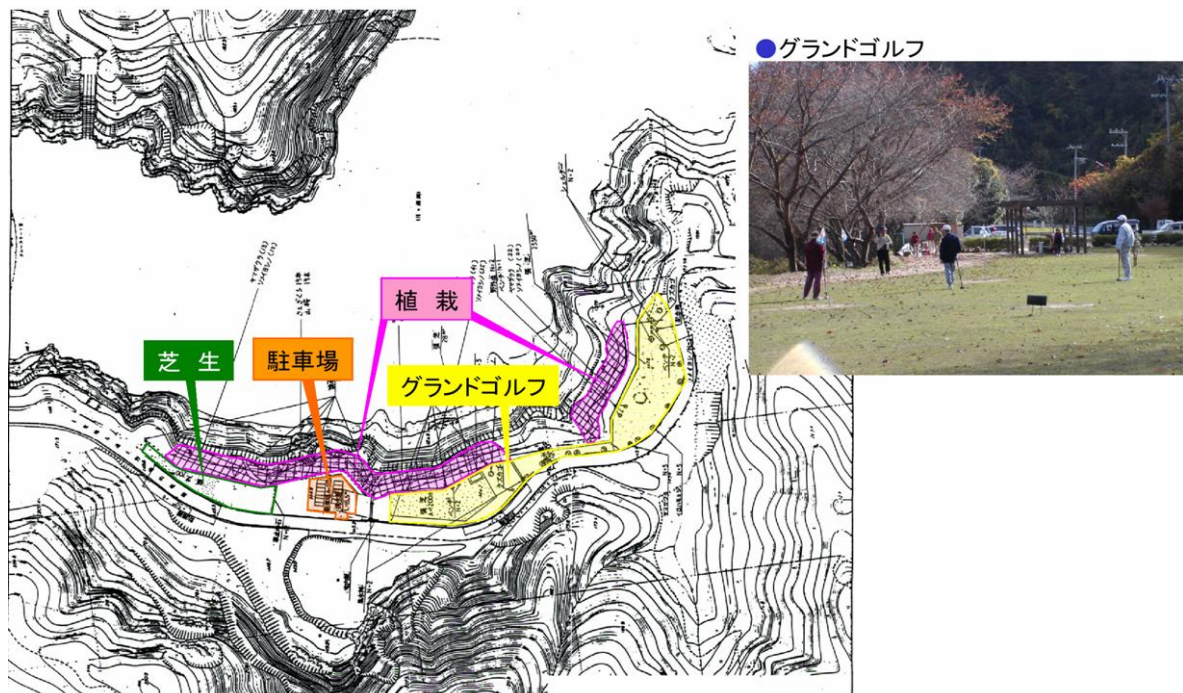


図7.5.1-5 ダム周辺環境整備状況図 (A地区)

1) 整備方針

平坦地で四季を通じて利用でき、アクセス性も良好なこと、ダムサイトにも近く景観的な配慮が重要なことなどから、花(ヤマザクラ)等を配した修景広場が整備された。

2) 整備状況

○植栽

山 桜	115本	昭和62年から平成4年
ソメイヨシノ	68本	昭和62年及び平成7年
さとざくら	19本	平成2年
もみじ	21本	平成3年から平成5年

○主な施設

花見広場 (芝生 : 4,258m ²)	平成4年から平成6年
駐車場 (500m ² 13台)	平成5年
グランドゴルフ場	平成5年

3) 利用状況

当地区にあるグランドゴルフ場では、地元住民等が主催する大会が開催されており、年間 約15,000人が利用している。

また、桜の開花時期には花見を目的に多くの人々が訪れている。

(4) ダム周辺環境整備状況 (B地区：湖岸散策ゾーン)

B地区のダム周辺環境整備状況を図7.5.1-6に示す。

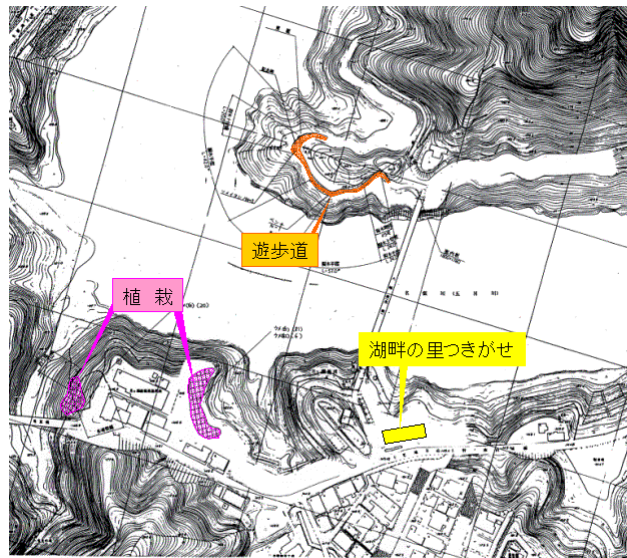


図7.5.1-6 ダム周辺環境整備状況図 (B地区)

1) 整備方針

月ヶ瀬の梅渓として有名な場所で、沿道には多くの梅の木が植えられ花見を楽しむ人が多いため、「花と緑と水の里」にふさわしい景観をより一層高めることを目的に、貯水池斜面にサクラ、ウメなどが植樹された。

2) 整備状況

○植栽

山	桜	126本	昭和62年
	ウメ(白)	222本	昭和62年
	ウメ(紅)	100本	昭和62年
	ソメイヨシノ	3本	平成7年
	ヤマモミジ	95本	昭和62年
	ユキヤナギ	130本	昭和62年

○主な施設

散策路(約160m)・・・平成3年及び平成4年

○その他自治体の整備

湖畔の里つきがせ(物販施設)・・・平成10年

3) 利用状況

当地区は国の文化財に指定されている月ヶ瀬梅林内に位置し、シーズン中には近隣の月ヶ瀬梅林、月ヶ瀬温泉等と合わせて年間約51万人の観光客が訪れている。

また、貯水池内への進入路があり、釣り客に利用されている。

当地区内には物販施設もあり、多くの人が立ち寄っている。

(5) ダム周辺環境整備状況 (C地区：レクリエーションゾーン)

C地区のダム周辺環境整備状況を図7.5.1-7に示す。

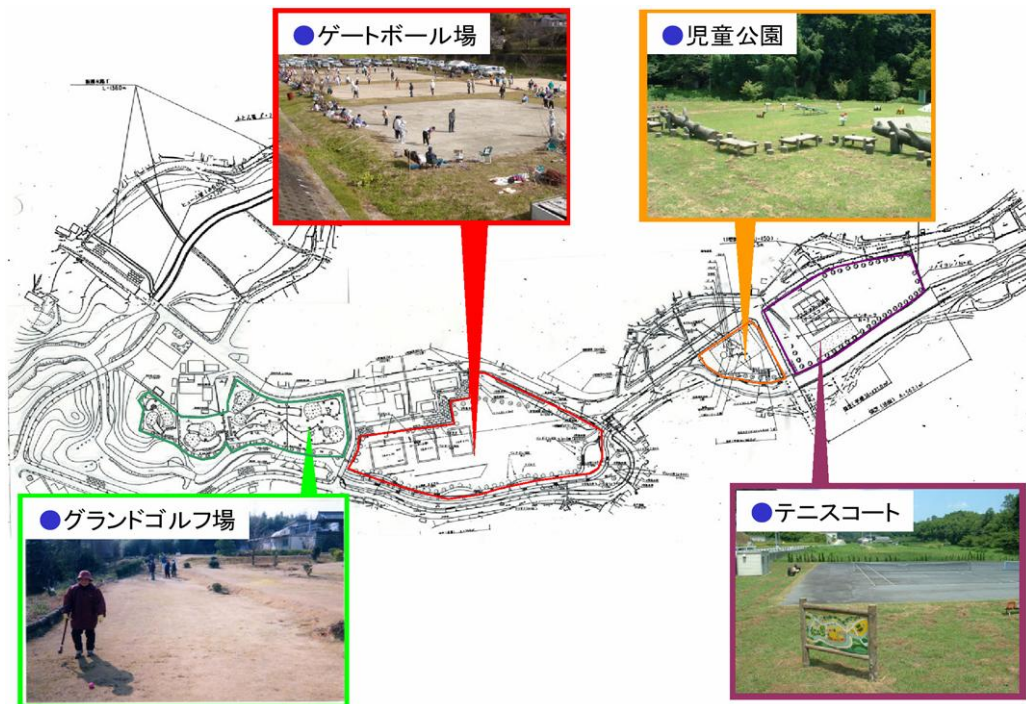


図 7.5.1-7 ダム周辺環境整備状況図 (C地区)

1) 整備方針

主として周辺住民の野外活動ゾーンとして位置付けられ、子供から老人まで多くの人が多目的なレクリエーションを楽しむことができるような施設が整備されている。

2) 整備状況

○植栽

山 桜	50 本	平成 5 年
ソメイヨシノ	91 本	平成 7 年
サツキツツジ	30 本	平成 7 年
マメツゲ	20 本	平成 7 年
サザンカ	9 本	平成 7 年

○主な施設

ゲートボール場	5 面	平成 6 年
テニスコート	2 面	平成 6 年
グランドゴルフ	9 ホール	平成 7 年
児童公園	1 ヶ所	平成 5 年から平成 7 年
簡易便所	1 ヶ所	平成 5 年

3) 利用状況

当地区にあるゲートボール場では、地元住民が主催する多くの大会が開催されており、年間約 1,200 人が利用している。また、その他の施設（グランドゴルフ場、児童公園、テニスコート）も地元住民を中心に、年間約 1,500 人の人が利用している。

(6) ダム周辺環境整備状況 (D地区：遺跡散策ゾーン)

D地区のダム周辺環境整備状況を図7.5.1-8に示す。

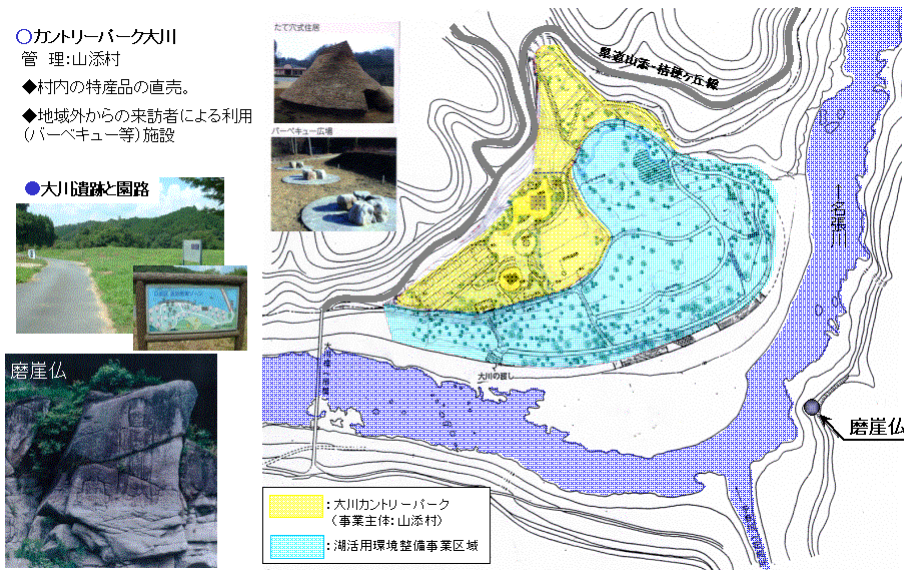


図 7.5.1-8 ダム周辺環境整備状況図 (D地区)

1) 整備方針

当地区は大川遺跡が埋蔵されているところであり、この貴重な歴史的財産を保護するとともに、十分に活用するために、竪穴式住居の復元などの整備が行われた。

また、整備地区の対岸には露出した岩肌には磨崖仏があるため、祈りの場を考慮した計画とした。

2) 整備状況

○植栽

サクラ(種不明) 253本・・・平成6年、平成7年

○主な施設

散策路 約660m・・・昭和63年

渡し場 1式・・・昭和63年

○その他自治体による整備

大川カントリーパーク・・・平成15年(事業主体: 山添村)

3) 利用状況

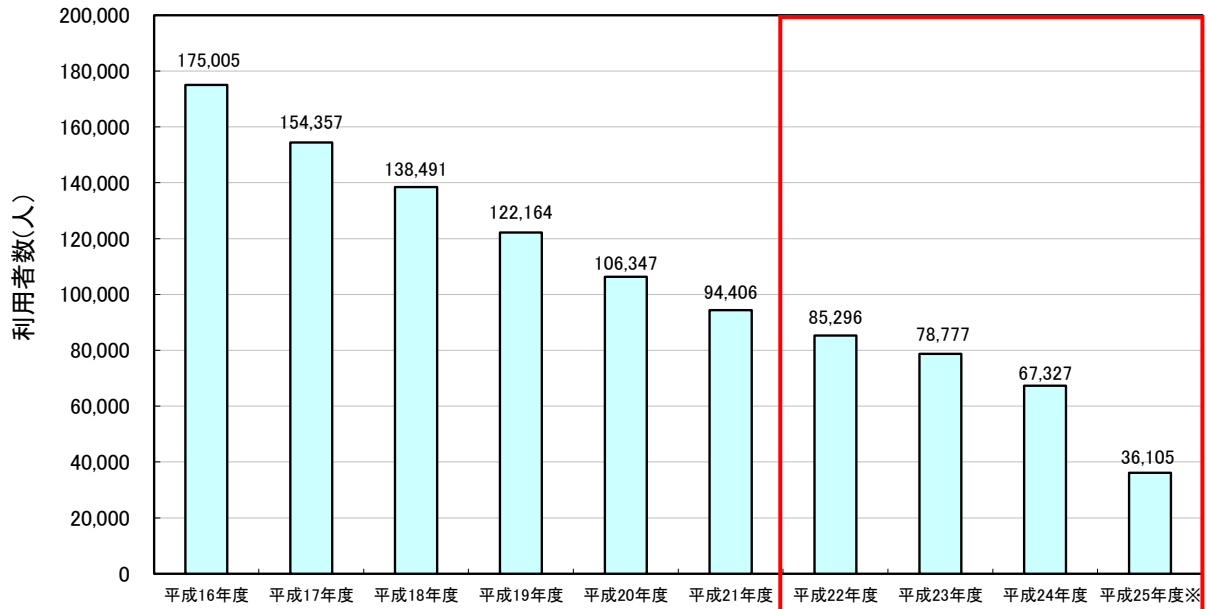
当地区は、名張川河岸で瓦器や住居址が発掘され、縄文時代の大川遺跡があり、これらを巡る散策路が利用されている。

また、隣接する「カントリーパーク大川(事業主体: 山添村)」が平成16年4月にオープンし、これまで、多くの人がバーベキュー、魚釣り等を目的に訪れている。

7.5.2 ダム周辺施設の利用状況

高山ダム近傍の「月ヶ瀬温泉」の年間利用者数の推移は図 7.5.2-1 に示すとおりである。

近年減少の一途で、平成 24 年時点では、平成 16 年の約 38%にまで減少している状況である。



※平成 25 年 7 月 1 日から平成 26 年 1 月末までは、リニューアル工事のため休館

出典：『統計なら』(<http://www.city.nara.lg.jp/www/contents/1146473162554/>) の観光データ

図 7.5.2-1 「月ヶ瀬温泉」の年間利用者数の推移

7.5.3 ダム周辺のイベント等の開催状況

(1) イベント等の実施状況

平成22年から平成26年に開催された高山ダム周辺のイベント等の開催状況を表7.5.3-1及び図7.5.3-1に示す。

高山ダムでは、ダムやダム湖、湖周道路等を活用して様々なイベントが開催されている。また、地元漁業組合が貯水池内でコイ及びフナ等を放流し、ダム上下流の河川ではアユ等の放流を行っており、夏季を中心に年間を通じて多数の釣り客が訪れる。

貯水池周辺ではレガッタ(ボート)、駅伝大会等のイベントが開催されレクリエーションの場として利用されている。

表7.5.3-1 (1) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況(平成22年)

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容等
平成22年 1月29日	里山整備事業	花鳥の郷	NPO法人 花鳥の郷をつくる 会	26名	花鳥の郷で里山づくりが行われる。
平成22年 2月14日	第25回 月ヶ 瀬梅溪早春マ ラソン大会	月ヶ瀬湖 周辺	月ヶ瀬梅溪早春マ ラソン大会実行委 員会	約710名	奈良市月ヶ瀬行政センター隣の文 化センターをスタート&ゴールと するマラソン大会。3km、5km、10km の折り返し3コースで途中には月ヶ 瀬湖を眺めながら約700年の歴史を 誇る梅林の中を走る。
平成22年 6月13日	第3回月ヶ瀬 レガッタ大会	高山ダム 湖	奈良市ボート協会	約200名	ダム湖面を利用したボート競技大 会が開催される。
平成22年 6月20日	奈良市民体育 大会 レガッタ競技 大会	高山ダム 湖	主催：奈良市ボ ート協会 主管：奈良市ボ ート協会、月ヶ瀬ス ポーツ協会	171名	奈良市民体育大会の一環として実 施されるレガッタ競技大会が高山 ダム湖で開催される。
平成22年 7月10日	高山ダム湖外 来魚駆除活動	高山ダム 湖	木津川漁業共同組 合高山支部と協同	約40名	木津川漁協共同組合高山支部と共 同で3763匹の外来魚を駆除。
平成22年 7月31日	京・村まつり	南山城村 文化会館 「やまな みホール」 及び河川 敷	京・村まつり実行 委員会	300名	木工細工や水生生物調査、カヌーの 体験、特産品販売等が行われる。
平成22年 10月3日	2010高山ダム 釣り大会	高山ダム 湖	NPO法人 ENJIN	約20名	高山ダム湖で釣り大会が開催され る。
平成22年 10月16日	山城地方中学 校体育大会 駅伝競走の部	貯水池周 辺道路	山城地方中学校体 育連盟・山城、乙 訓地方各市町(広 域連合)教育委員 会	約500名	高山ダム湖周辺で駅伝が開催され る。
平成22年 11月23日	2010むら活 き生きまつり	京都府立 南山城少 年自然の 家のグラ ウンド及 び、高山ダ ム周辺	むら活き生きまつ り実行委員会	約4,000 名	湖面と堤体内の見学を実施。



月ヶ瀬梅溪早春マラソン



高山ダム湖内外来魚駆除



高山ダム釣り大会



山城地方中学校体育大会



むら生き生きまつり

図 7.5.3-1(1) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況(平成22年)

表7.5.3-1 (2) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況(平成23年)

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容等
平成23年 7月2日	高山ダム湖内 外来魚駆除	流木処理道等	木津川漁協	約30名	木津川漁協主催によるダム湖内の外来魚駆除活動。3,120匹の外来魚を駆除。
平成23年 8月23日	鮎パーティー		五月川、波 多野、月ヶ 瀬漁協	約50名	名張川でとれた鮎の試食
平成23年 10月15日	山城駅伝大会	高山ダム周辺	山城地方中 学校体育連 盟・山城地 方各市町村 (組合)教 育委員会	走者： 約250名	駅伝競走大会(開会式9時) (第57回山城地方中学校男子駅伝競走 大会、第24回山城地方中学校女子駅伝競 走大会)
平成23年 10月16日	関西シクロ クロス	高山ダム広場	関西シクロ クロス実 行委員会	選手参加 者：約200 名	自転車によるクロスカントリー大会
平成23年 10月30日	京都茶の道シ ンクロラリー	京都府相楽郡 3町村(高山ダ ム周回含む)	相楽東部ネ ットワーク 会議	約100名 (推定 値)	茶畑の中を自転車で50kmまたは100kmの コースを走る自転車ラリー
平成23年 11月23日	南山城村む ら生き生きま つり	京都府立南山 城少年自然の 家のグラウン ド及び高山ダ ム周辺	南山城村 むら生き生 きまつり実 行委員会	来場者： 約3,500 名	村祭り時に湖面と堤体内見学を実施。



高山ダム湖内外来魚駆除



山城駅伝大会



関西シンクロクロス



京都茶の道シンクロラリー



むら活き生きまつり



図 7.5.3-1(2) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況 (平成 23 年)

表7.5.3-1 (3) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況(平成24年)

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容等
平成24年 2月12日	月ヶ瀬早春 マラソン	月ヶ瀬湖 周辺	月ヶ瀬梅溪 早春マラソ ン大会実行 委員会	走者：780名	奈良市月ヶ瀬行政センター隣の文化 センターをスタート&ゴールとする マラソン大会。3km, 5km, 10kmの折り 返し3コースで途中には月ヶ瀬湖を眺 めながら約700年の歴史を誇る梅林の 中を走る。
平成24年 7月15日	高山ダム湖内 外来魚駆除	流木処理 道等	木津川漁協	約24名	木津川漁協主催によるダム湖内の外来 魚駆除活動。3,270匹の外来魚を駆除。
平成24年 10月14日	関西シクロク ロス	高山ダム 広場	関西シクロ クロス実行 委員会	見学者含む 参加者：約 2,200名	自転車によるクロスカントリー大会
平成24年 10月20日	山城駅伝大会	高山ダム 周辺	山城地方中 学校体育連 盟・山城地 方各市町村 (組合)教 育委員会	参加チーム 数：男女合計 80チーム 父兄含む参加 者：約3,000 名	山城地方中学校男子・女子駅伝競走大 会
平成24年 11月23日	南山城村む ら生き生きま つり	京都府立 南山城少 年自然の 家のグラ ウンド及 び高山ダ ム周辺	南山城村 むら生き 生きまつり 実行委員会	来場者：約 2,000名	村祭り時に湖面と堤体内見学を実施。



月ヶ瀬早春マラソン



高山ダム湖内外来魚駆除



関西シクロクロス



山城駅伝大会



むら生き生きまつり

図 7.5.3-1(3) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況 (平成 24 年)

表7.5.3-1 (4) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況 (平成25年)

開催期間	行事名等	開催場所	主催者	参加人数	行事内容等
平成25年 2月10日	月ヶ瀬早春 マラソン	月ヶ瀬湖 周辺	月ヶ瀬梅溪 早春マラソ ン大会実行 委員会	走者：653名	奈良市月ヶ瀬行政センター隣の文化セン ターをスタート&ゴールとするマラソン 大会。3km, 5km, 10kmの折り返し3コース で途中には月ヶ瀬湖を眺めながら約700 年の歴史を誇る梅林の中を走る。
平成 25 年 6 月 19 日	高山ダムレガ ッタ	月ヶ瀬湖	奈良市	16 チーム	奈良市の市民スポーツ大会の一環しての ボートのナックルフォアの大会
平成 25 年 6 月 29 日, 7 月 14 日	高山ダム湖内 外来魚駆除	流木処理道 等	木津川漁協	木津川ダム 総合管理 所から 13 名 参加	木津川漁協主催によるダム湖内の外来魚 駆除活動。6,700 匹の外来魚を駆除。
平成 25 年 10 月 19 日	山城地方中学 駅伝大会	高山ダム周 辺	山城地方中 学校体育連 盟・山城地方 各市町村(組 合)教育委員 会	参加チーム 数：男女合計 81 チーム 父兄含む参 加者：約 3,000 名	京都府山城地方中学校男子・女子駅伝競 走大会
平成 25 年 11 月 23 日	南山城村 む ら生き生きま つり	京都府立南 山城少年自 然の家の大 ラウンド及 び高山ダム 周辺	南山城村 むら生き生 きまつり実 行委員会	来場者： 約 3,500 名	祭り時に湖面と堤体内見学を実施し、100 名の参加があった。



月ヶ瀬早春マラソン



高山ダムレガッタ



高山ダム湖内外来魚駆除



山城地方中学駅伝大会



むら生き生きまつり

図 7.5.3-1(4) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況 (平成 25 年)

表7.5.3-1 (5) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況 (平成26年)

開催期間	行事名等	開催場所	主催者	参加人数	行事内容等
平成26年 7月5日	高山ダム湖内 外来魚駆除	流木処理 道等	木津川漁協	木津川ダム 総合管理所 から15名参加	木津川漁協主催によるダム湖内の外来魚 駆除活動。ブラックバス12匹、ニゴイ6 匹、ブルーギル1070匹を駆除。
平成26年 10月18日	山城地方中学 駅伝大会	高山ダム 周辺	山城地方中 学校体育連 盟・山城地方 各市町村(組 合)教育委員 会	参加者：約 250名	京都府山城地方中学校男子・女子駅伝競 走大会
平成26年 11月23日	南山城村む ら生き生きま つり	京都府立 南山城少 年自然の 家のグラ ウンド及 び高山ダ ム周辺	南山城村 むら生き 生きまつり 実行委員会	来場者： 約3,500名	祭り時に湖面と堤体内見学を実施。



高山ダム湖内外来魚駆除



山城地方中学駅伝大会



むら生き生きまつり

図7.5.3-1(5) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況 (平成26年)

(2) ダムカードの配布

イベント参加者やダム来訪者にダムカードを配布し、ダムへの関心や興味を持ってもらう取り組みも行っている。高山ダムのダムカード配布状況を図7.5.3-2に示す。

配布枚数は増加傾向にあり、ダムへの関心が高くなっていることが伺える。

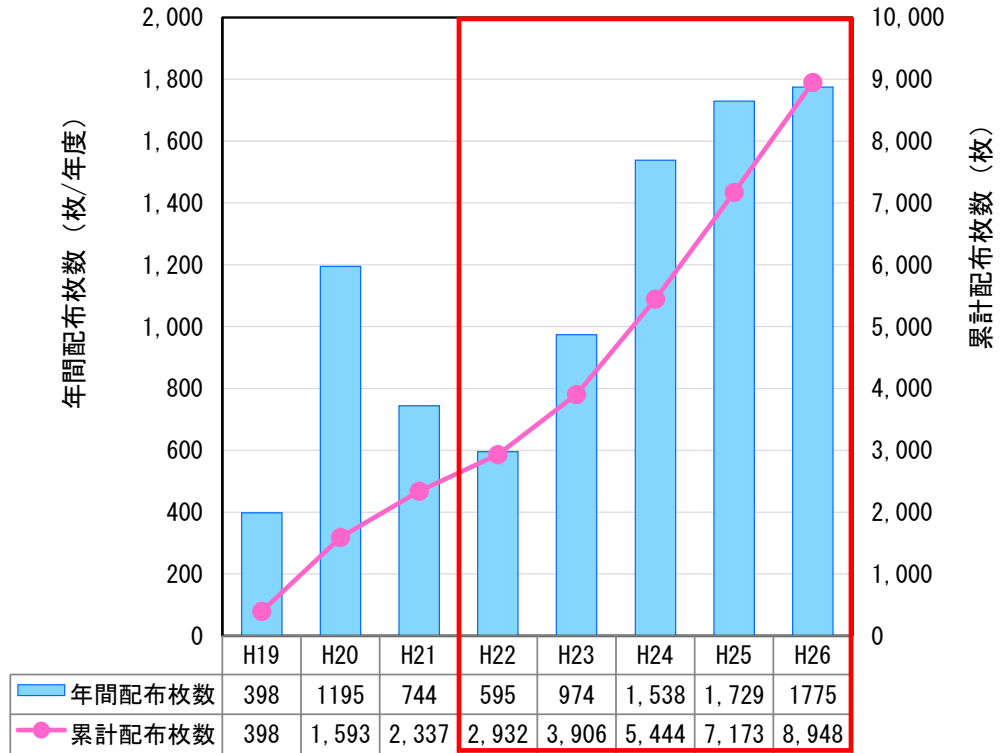


図 7.5.3-2 ダムカード配布状況(平成19年度から平成26年度)

7.5.3 ダム周辺利用の評価

高山ダムは、ダム周辺施設やダム湖が地域のイベント会場として利用されることが多く、地域に対し、レクリエーション活動や交流の場を提供している。また、高山ダムでは、イベントでのダム見学会の開催やイベントへの協力のほか、外来種駆除などの水源地域の環境保全を積極的に行うなど、地域社会に向けた活動に積極的に取り組んでいる。

ダム管理者である水資源機構は、地域活性化や啓発等に資するため、ダムや周辺施設を利用したイベントや活動等の開催支援を積極的、継続的に実施していく役割を担っている。今後も地域活動の支援や連携を行い、更なる地域とのパートナーシップ構築を図っていくことも重要である。

7.6 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果

7.6.1 ダム湖利用実態調査

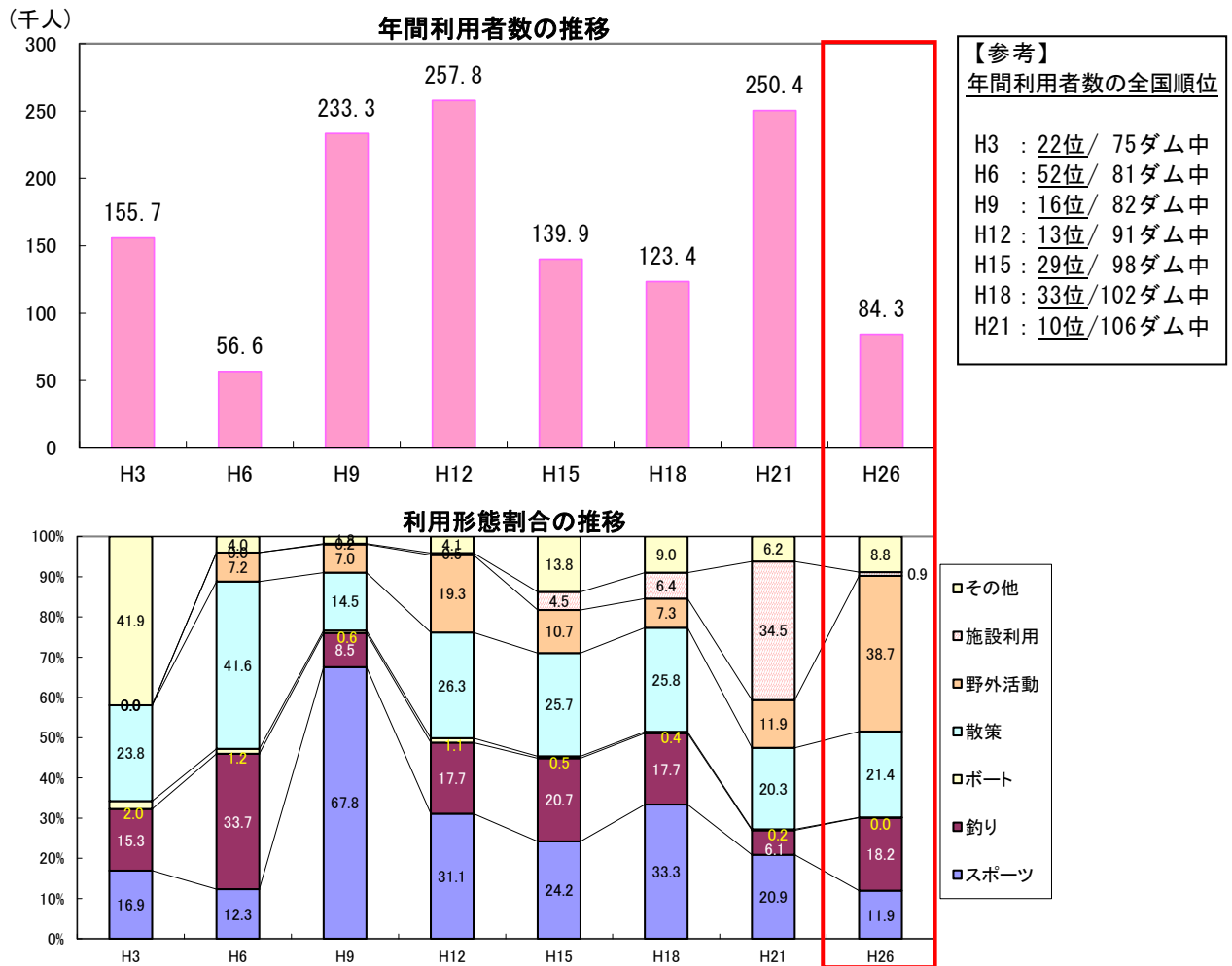
河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)による利用状況経年変化は図 7.6.1-1 に示すとおりである。

河川水辺の国勢調査(年間7日間のダム湖利用実態調査)から年間利用者数を推計すると、平成26年の高山ダム来訪者数は、8万4千人程度であったと考えられる。

利用形態としては、「野外活動」、「散策」、「釣り」が多い。

平成26年の年間利用者数の減は、ダム近傍施設である「グリーンパル南山城(京都府立南山城少年自然の家)」が、調査期間中、運営していなかったことによる影響が大きいと考えられる。

平成26年は「野外活動」が最も多かった。これは、ダム湖左岸のキャンプ場(カンントリーパーク大川)利用者が特に多かったことによると考えられる。

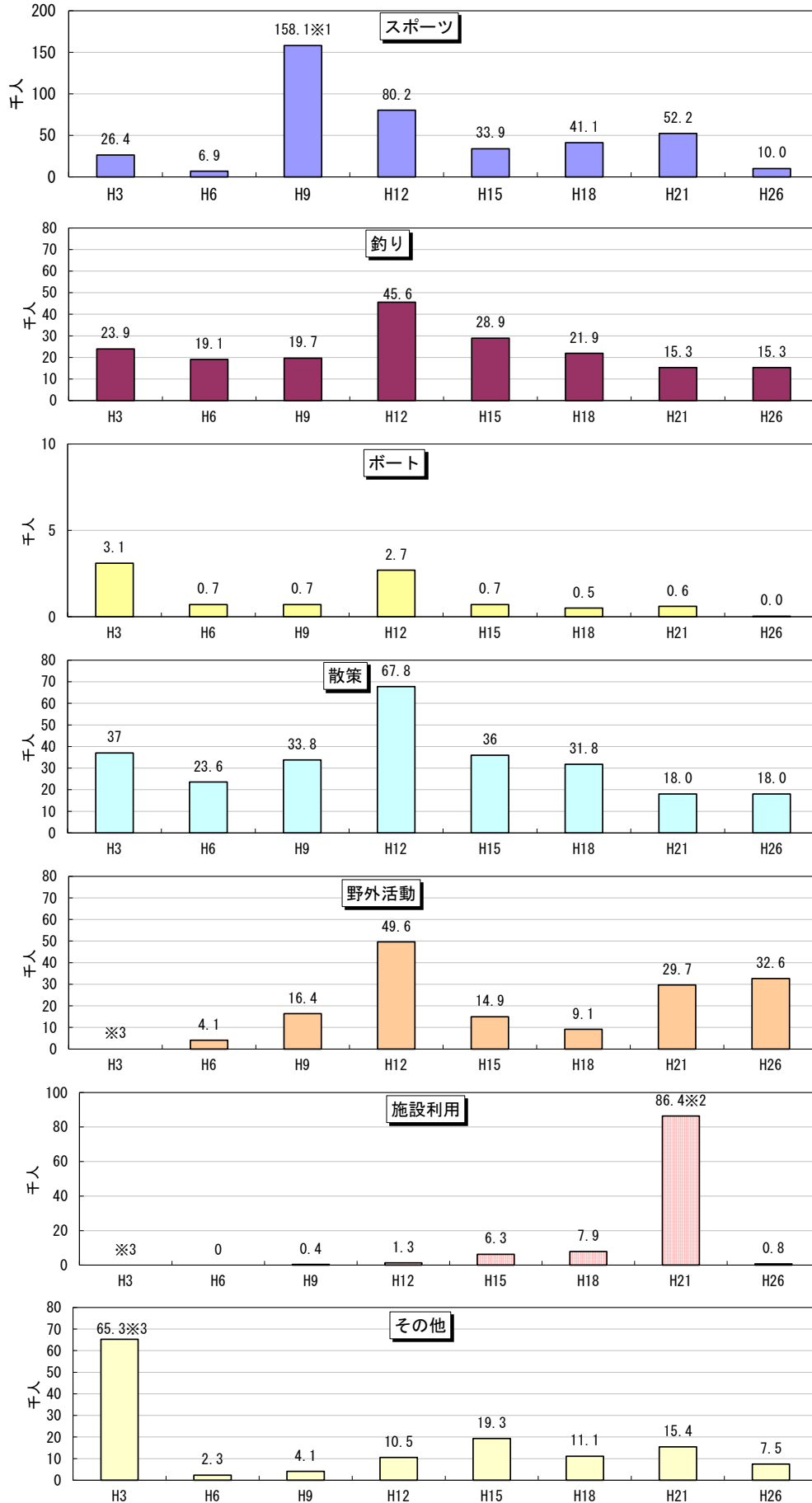


※データの出典

○H3～H21: 「平成21年度河川水辺の国勢調査結果[ダム湖版](ダム湖利用実態調査編)」(平成23年3月, 国土交通省河川局河川環境課)

○H26: 平成21年度の年間利用者数算出方法により推計(試算)したものであるため、今後変更することもある。

図 7.6.1-1 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)による利用状況経年変化



※1 平成9年度のスポーツ利用者数が多いが、夏季調査日が「月ヶ瀬オフロードラン」と重なったためと考えられる。
 ※2 平成21年度の施設利用者が多いが、調査日に「グリーンパル南山城(南山城少年自然の家)」の利用者が多かったためと考えられる。
 ※3 平成3年度は、「野外活動」「施設利用」は、「その他」として集計されている。

図 7.6.1-2 高山ダム周辺の利用形態別利用者数の状況

【参考：ダム湖利用委実態調査の調査方法及び年間利用者数の推計方法】

1. 調査項目・調査時期

表-(1) 調査項目、目的および作成する様式

調査項目	目的	調査実施日等
利用者カウント調査	年間利用者数の推計に用いる基礎データ（サンプル日における利用者数）の収集。 あらかじめ設定した「ブロック区分※1」毎に調査を行った。	表-(2)に示す調査実施日（合計7日間）において実施。
利用者アンケート調査	ダム湖の利用目的、感想等の把握および年間利用者数の推計にあたっての基礎データの収集。	
イベント調査	ダム湖における利用者数の影響要因である各種イベントの開催状況および参加人数の把握。	調査実施年の3月1日から翌年2月28日までの1年間における状況を聞き取り調査等により実施。
施設利用者数調査（H18, 21のみ実施）	ダム湖周辺にある施設での日別利用者数の把握	調査実施年の3月1日から翌年2月28日までの1年間において実施。

※1 ブロック区分：利用者カウント調査において利用者数の集計を行う地理的単位です。基本的には、調査対象区域内の利用環境を踏まえて、調査対象区域を複数のエリアに分割

表-(2) 調査実施日一覧

番号	季節区分	平日休日区分	各年の調査実施日等	備考
1	春季	休日	4月29日(祝日)	ただし、参加人数100人以上のイベント、悪天候、施設の休館日と重なったときは、適宜直近の日で設定
2			5月5日(祝日)	
3		平日	5月中旬の平日	
4	夏季	休日	7月最終日曜日	
5			平日	
6	秋季	休日	11月3日(祝日)	
7	冬季	休日	1月上旬の休日	

2. 調査方法

(1) 利用者カウント調査

- ・調査区域内の利用者数を現地で実測する方法である。
- ・利用者数は、設定したブロック毎に、時間帯別、性別、年齢別、利用区分別に人数をカウント。
- ・原則として、日の出から日没までの間に2時間毎で実施する。
- ・各調査時刻における観測値の合計を一日の利用者数とみなす。

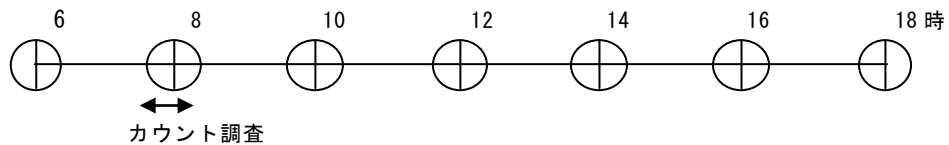


図-(1) 利用者カウント調査の実施間隔の考え方

(2) 利用者アンケート調査

本調査は、利用者に対して直接質問し、回答を得ることにより実施。調査実施日は、利用者カウント調査実施日(7日間)とする。必要なアンケート対象者数(最少サンプル数)は、各調査実施日において20人以上を目標とした。

(3) イベント調査

本調査は、ダム管理者や施設の運営主体等から、調査区域内において開催されたイベントについて、聞き取りを行うことにより調査を実施した。

表-(3) 対象とするイベントの考え方

対象とするイベント等	
期 間	当該年3月から翌年2月の1年間において開催されたイベント等とした。
時 間 帯	対象とする時間帯は特に制限しない。
規 模	参加人数が概ね100人以上となるイベント等とした。
種 類 等	対象とするイベント等の種類や実施・運営主体等は特に制限しない。

3. 年間利用者数の推計方法

各季節別に実施した合計7回の調査(カウント)結果とイベント調査結果をもとに、ダム毎に1年間のダム湖利用者数の推計を行った。

年間の利用者数の推計に当たっては、季節、休日と平日の違いを考慮し、各季節の休日、土曜日、平日の利用者数(実測値を基本とする)を原単位とし、それに各季節の休日・土曜日・平日の日数を乗じた推計値にイベント調査結果を加えることにより、年間利用者数の推計を行った。

なお、平成9年度以前の調査については、イベント調査は行われていないため、上記のイベント人数の加算は行っていない。

【曜日係数】

H15まで:各季節の土曜日および秋季・冬季の平日については実測値がないため、平成4年度に行った補足調査結果より得られた全国平均の比率を乗じる(土曜日=0.37×休日、平日=0.18×休日)ことにより、原単位を求めた。

H18以降 :H15まで使用した曜日係数は平成4年に設定されたものであり、その間に休暇の取得等に関する社会的な考え方や制度が変化した可能性が考えられたため、H18に新しい曜日係数設定を目的とした追加調査を行った。結果、平成18年は、土曜係数 : 0.41、平日係数 : 0.22とされた。

表-(4) 平成21年度高山ダム年間利用者数の推定【平成21年度の係数を使用して試算】

季節	曜日区分	調査日別利用者数(実測値)	原単位			日数			季節別利用者数(推計値)	イベント参加人数(実測値)	年間利用者数(推計値)
			休日	平日	土曜(*1)	休日	平日	土曜			
春季	休日1	150	525(*2)	117	215	18	61	13	19,374	3,500	84,256
	休日2	892									
	平日	117									
夏季	休日	584	584	148	239	15	64	13	21,345		
	平日	148									
秋季	休日	784	784	172(*3)	321	18	60	13	28,640		
冬季	休日	328	328	72(*3)	134	16	61	13	11,398		

*1 : 休日×0.41

*2 : 春季休日1と春季休日2の平均値

*3 : 休日×0.22

7.6.2 利用者の特性

ダム湖利用実態調査時に行った利用者アンケート調査の結果から、高山ダム利用者の特性を整理した。

アンケートの回答者数は、以下のとおりである。

平成21年度：100人

平成26年度：116人

1) 利用者の属性

利用者の年齢層を図7.6.2-1に示す。

利用者層は、平成21年度は50歳代、平成26年度は40歳代が最も多い。

20歳代から60歳代まで、幅広い年代に利用されている。

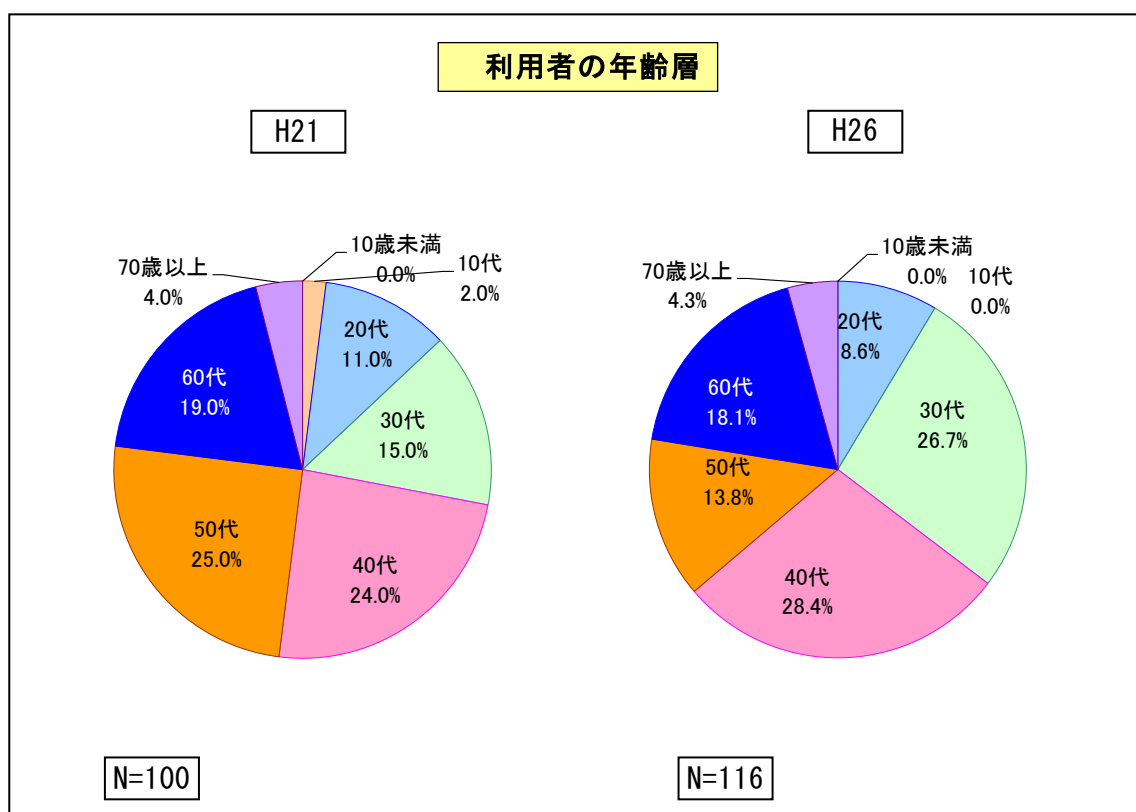


図7.6.2-1 利用者の年齢層

2) 利用者の居住地等

利用者の居住地（都道府県別）を図7.6.2-2に示す。

来訪者の居住地は大阪府が多く、大阪府、京都府、奈良県で約8割を占めている。また、関西圏（大阪府、京都府、奈良県、滋賀県など）、中京圏（愛知県、岐阜県、三重県など）で約95%を占めている。

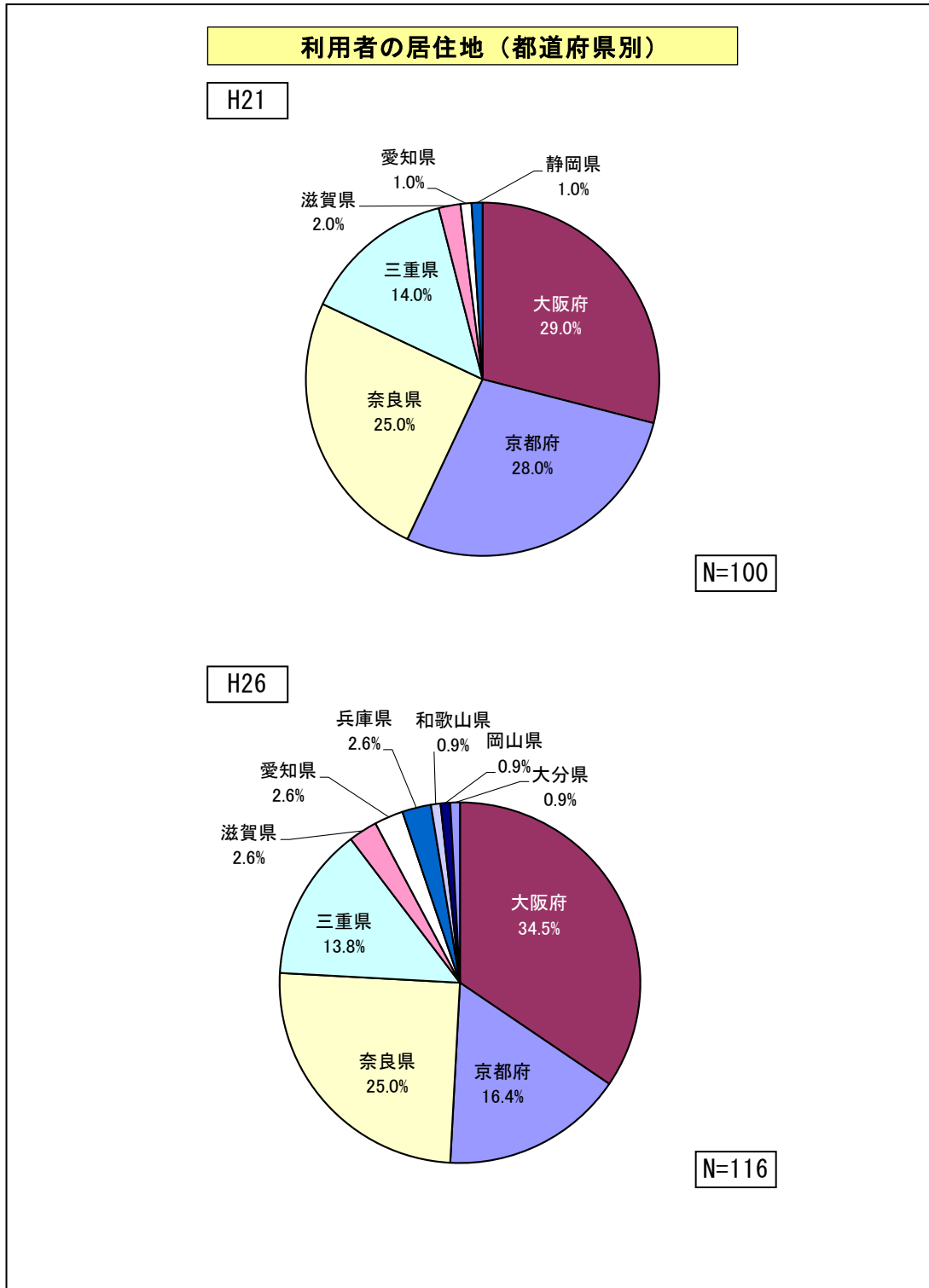


図7.6.2-2 利用者の居住地等（都道府県別）

利用者の来訪経験を図 7. 6. 2-3 に示す。

高山ダムを訪れた利用者のうち、75%~85%をリピーターが占めている。平成 26 年度は、平成 21 年度よりリピーターが少ない傾向にあった。

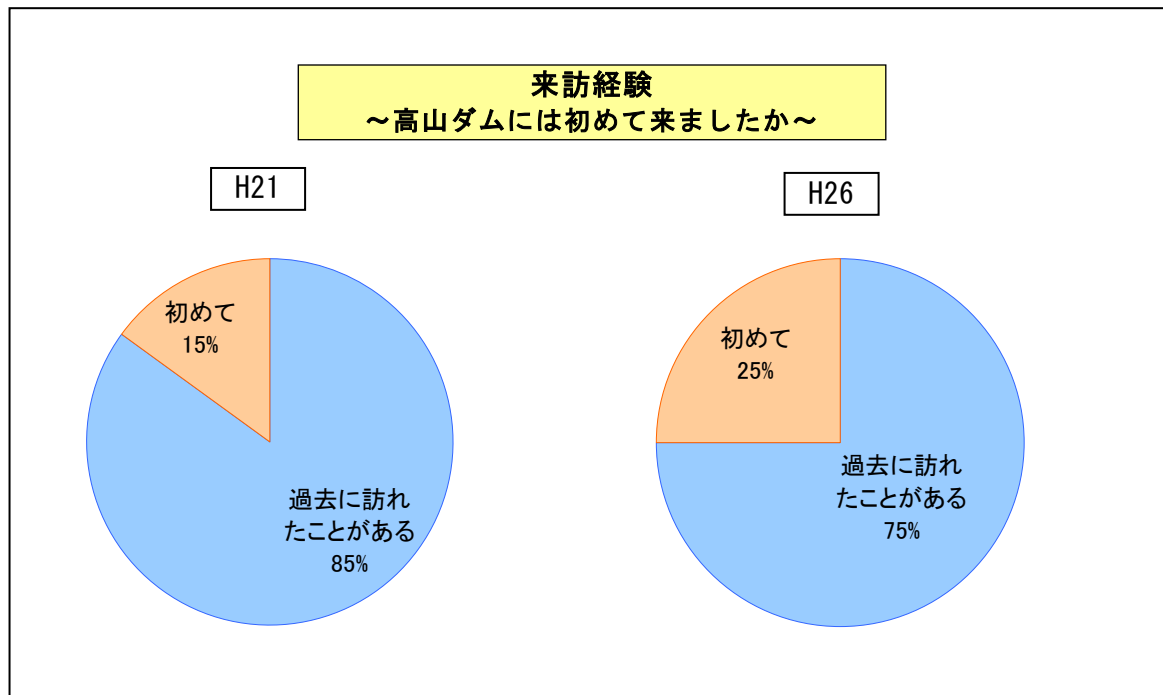


図7. 6. 2-3 利用者の来訪経験

利用者の同伴者を図7. 6. 2-4に示す。

平成21年度は友人と訪れる人が最も多かったが、平成26年度は単独で訪れる人が多く4割以上を占めている。

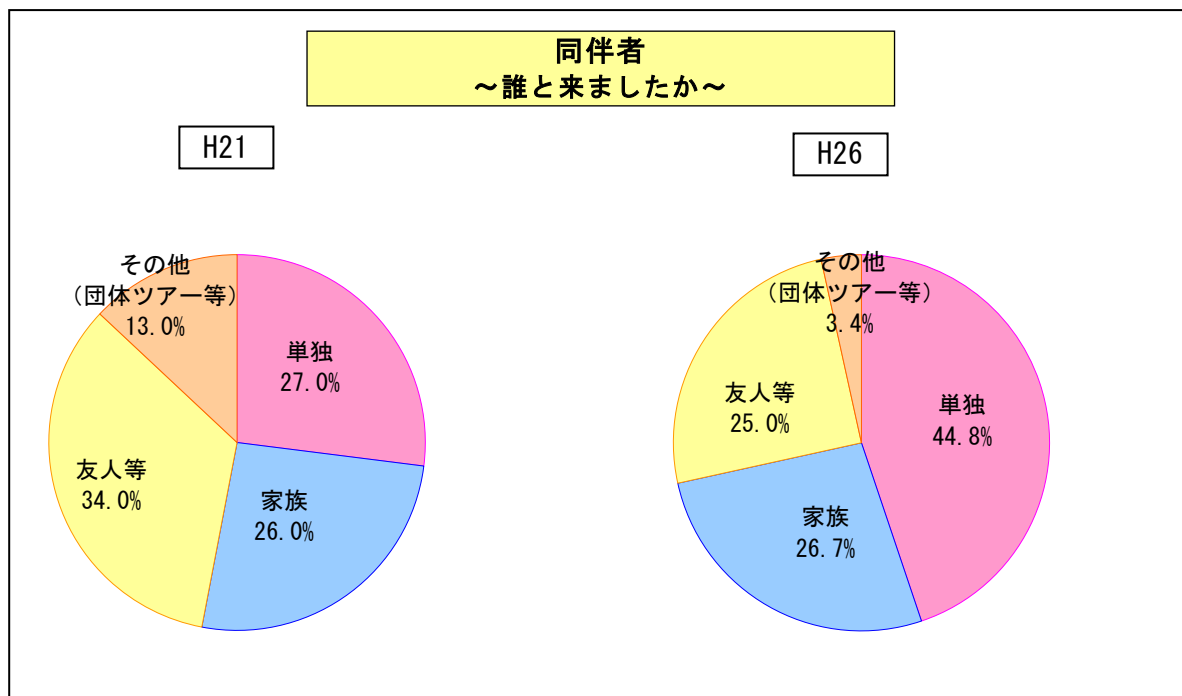


図7. 6. 2-4 利用者の同伴者

3) 来訪目的

利用者の高山ダムへの来訪目的を図7.6.2-5に示す。

高山ダムを訪れた主な目的は、「レジャー」が最も多く、次いで「スポーツ」となっている。

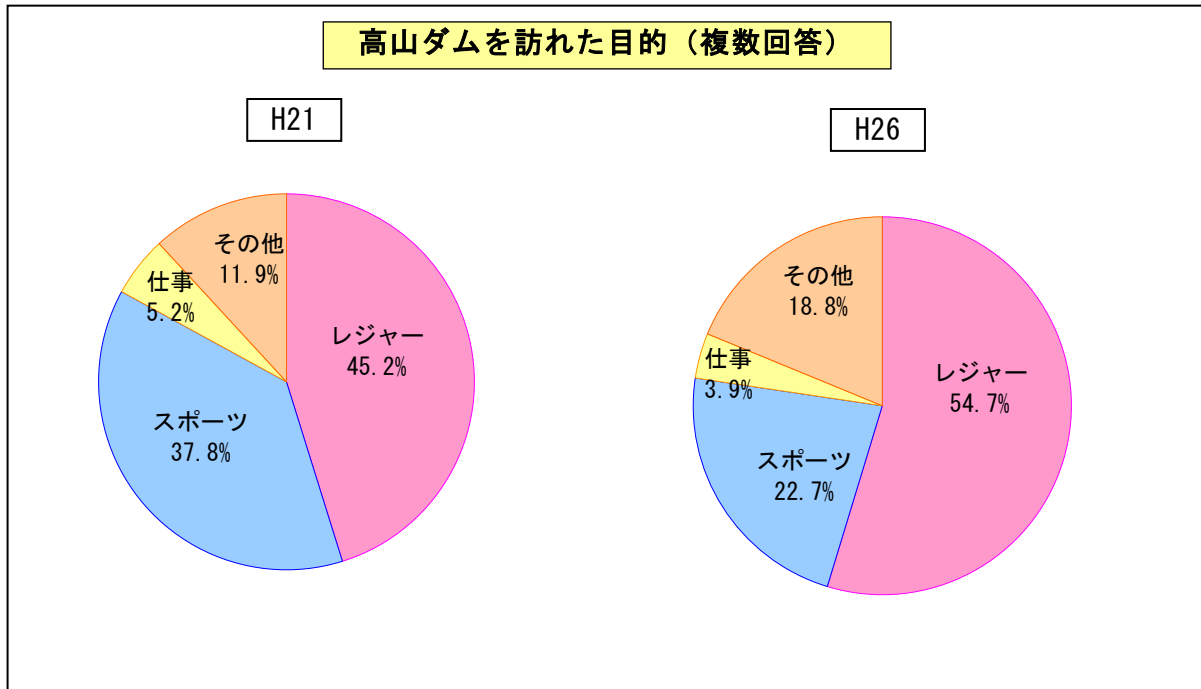


図7.6.2-5 利用者の高山ダムへの来訪目的

4) 利用者の感想

利用者の感想を図 7.6.2-6 に示す。

高山ダムを利用した人の感想は、「満足」「まあ満足」が約 8 割を占めており、平成 21 年度と平成 26 年度は同様の傾向である。「やや不満」「不満」と回答した人は 8%程度であり、河川やダム湖の水質（環境）への不満、施設（設備）に対する不満が見られる。また、釣りに関する感想が多いのは、高山ダムの特徴と言える。

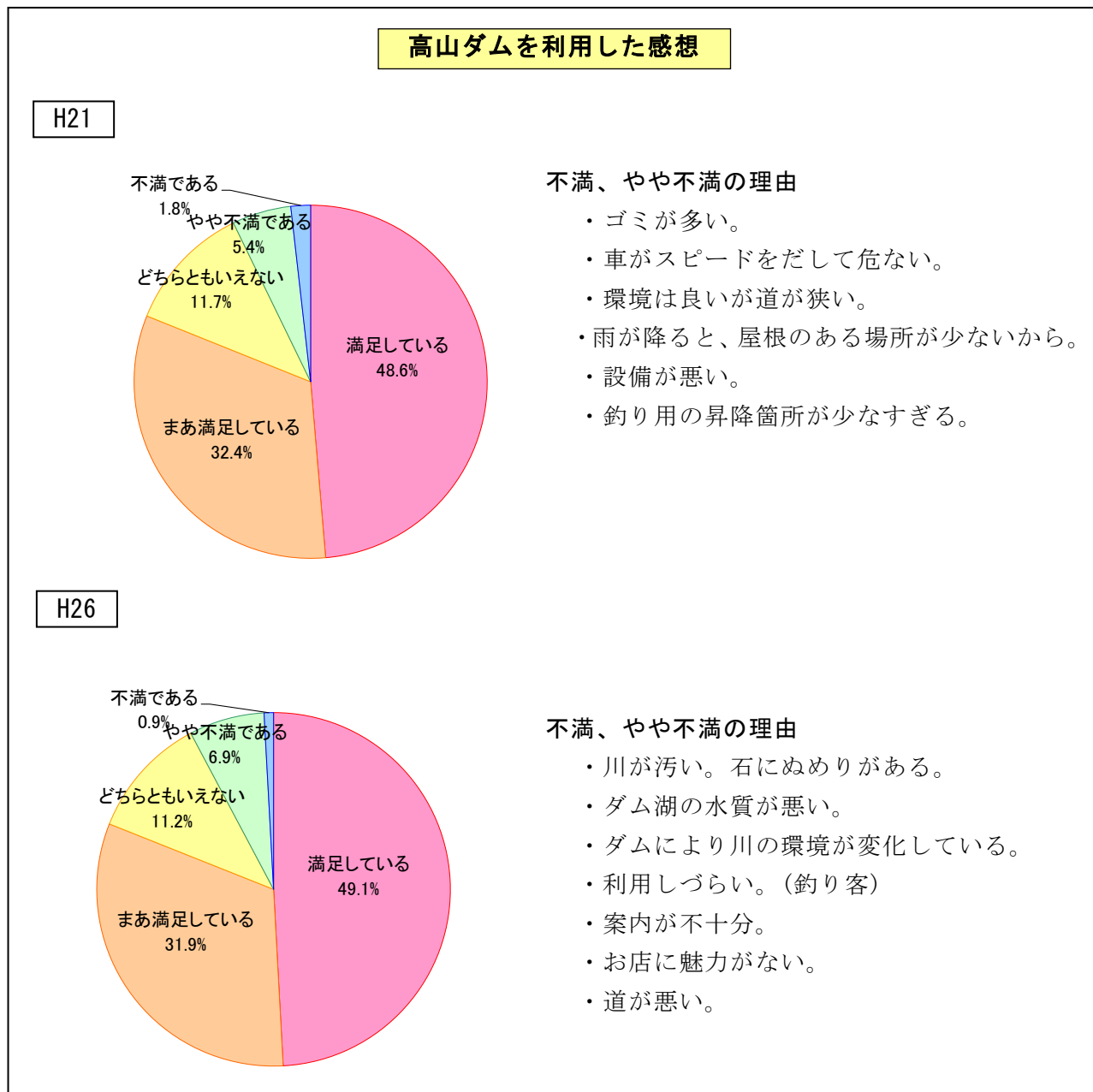


図7.6.2-6 利用者の感想

7.6.3 ダム湖利用の評価

高山ダム及びダム貯水池周辺には、月ヶ瀬梅溪やキャンプ場等が整備されており、高山ダム周辺への観光客が多い。

また、釣り客にも人気の場所となっており、釣り利用が多いことも高山ダムの特徴である。

交通の便がよく、大阪を中心とした関西圏の利用が多く、交通の便も良いことから幅広い年代が訪れている。

利用者の満足度は高く、リピーターも多いことから、ダム周辺整備等の効果が表れているものと考えられる。しかし利用者からは、設備などに対する不満の声もあり、より利用者に配慮した施設の維持管理を行いつつ、修繕、老朽化対策などについて、今後検討していく必要性も考えられる。

7.8 まとめ

高山ダムの水源地域動態に関して、以下のように評価する。

- ・高山ダム流域内における人口は、平成12年までは増加傾向であったが、その後減少している。世帯数は平成17年までは増加していたが、平成22年は減少に転じている。
- ・高山ダムは、「奈良市レガッタ競技会」「山城地方中学駅伝大会」などの、地域イベントの場として活用されている。
- ・高山ダム管理所では、イベントへの協力のほか、外来魚駆除などの水源地域の環境保全を積極的に行うなど、地域社会に向けた活動に取り組んでいる。
- ・ダム湖利用実態調査から年間利用者数を推計すると、平成26年の年間利用者は約8万4千人で、平成21年からは減少しているものの、野外活動を中心として幅広い年代に利用されており、利用者の満足度は高いものとなっている。

以上より、今後も水源地域の人口等の概要、観光施設等の水源動態を引き続き把握していくとともに、イベント等の機会をとらえて地域におけるダムの役割等についての広報・PRを継続して実施していく。

また、ダム湖周辺施設を活かした活動、イベント等に積極的に取り組むとともに、水源地域ビジョンの基本方針に基づき、今後も引き続き関係自治体・地元・NPO などとともに活動を推進していく。

7.9 必要資料の収集・整理

高山ダムの水源地域動態に係る評価のため、以下の資料を収集整理した。

表 7.9-1 「7. 水源地域動態」に使用した文献・資料リスト

No.	文献・資料名	発行者	発行年月日	備考
7-1	総務省統計局ホームページ (http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/index.htm) 平成 22 年国勢調査(人口・世帯数・産業別就業者数)	総務省統計局		
7-2	高山ダム工事誌	高山ダム建設所	昭和 44 年 4 月	
7-3	南山城村：京都府統計データ			
7-4	月ヶ瀬村：奈良県環境客動態調査報告書			
7-5	上野市：伊賀市統計データ提供資料			
7-6	平成 22 年度高山ダム定期報告書	木津川ダム総合管理所	平成 23 年 3 月	
7-7	平成 22 年～平成 25 年 高山ダム年次報告書	木津川ダム総合管理所		
7-8	平成 22 年度～平成 26 年度 高山ダム管理年報	木津川ダム総合管理所	平成 16 年 3 月	
7-9	・『統計なら平成 26 年版』 ・伊賀市提供の観光データ	奈良県 三重県伊賀市		
7-10	河川水辺の国勢調査ダム湖利用実態調査	木津川ダム総合管理所 高山ダム管理所		

表 7.9-2 「7. 水源地域動態」に使用したデータ

No.	データ名	発行者	発行年月日	備考
7-11	国勢調査（平成 22 年度）	総務省統計局		
7-12	河川水辺の国勢調査ダム湖利用実態調査	木津川ダム総合管理所	平成 27 年 3 月	
7-13	高山ダム見学者数	木津川ダム総合管理所	昭和 44 年 4 月	